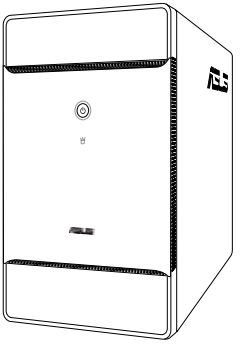
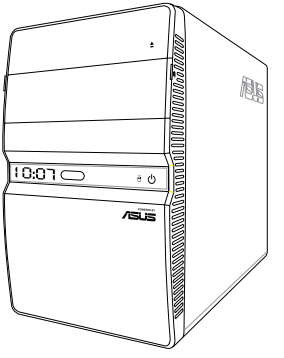
T-P5P43
ASUS PC（デスクトップベアボーン）



T3-P5P43



T4-P5P43*

* 時刻LEDと IR LEDを搭載するのは、
T4 シリーズの特定モデルのみです。

J4056

初版第 1 刷
2008 年10月

Copyright © 2008 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer, Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合は、保証やサービスを受けることができません。

(1)ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。

(2)製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

もくじ

もくじ ..... **iii**
ご注意 ..... **vi**
安全上のご注意 ..... **vii**
電気の取り扱い vii
クラス 1 レーザー製品 vii
このマニュアルについて ..... **viii**
このマニュアルの表記について ix
詳細情報 ix
パッケージ内容 ..... **x**

Chapter 1　システムの概要

1.1　ようこそ **1-2**
1.2　フロントパネル **1-2**
1.2.1　T3-P5P43フロントパネル 1-2
1.2.2　T4-P5P43 フロントパネル 1-4
1.3　バックパネル **1-6**
1.4　内部コンポーネント **1-8**

Chapter 2　基本取り付け

2.1　準備 **2-2**
2.2　始める前に **2-2**
2.3　カバーを取り外す **2-3**
2.4　電源装置 **2-4**
2.5　CPUを取り付ける **2-5**
2.5.1　CPUを取り付ける 2-5
2.5.2　CPU ファンとヒートシンクを取り付ける 2-7
2.6　メモリを取り付ける **2-8**
2.6.1　メモリ構成 2-8
2.6.2　メモリを取り付ける 2-16
2.7　拡張カードを取り付ける **2-17**
2.7.1　拡張スロット 2-17
2.7.2　拡張カードを取り付ける 2-18
2.8　光学ドライブを取り付ける **2-19**
2.9　Serial ATA ディスクドライブを取り付ける **2-20**
2.10　電源装置を元に戻す **2-21**
2.11　カバーを再び取り付ける **2-22**

もくじ

Chapter 3　起動

3.1　OSをインストールする 3-2
3.2　起動する 3-2
3.3　サポートCD情報 3-3
3.3.1　サポートCDを実行する 3-3
3.3.2　ドライバメニュー 3-4
3.3.3　ユーティリティメニュー 3-5
3.3.4　Make Disk メニュー 3-6
3.3.5　ASUSコンタクトインフォメーション 3-6
3.4　ソフトウェア情報 3-7
ASUS Express Gate 3-7

Chapter 4　マザーボード情報

4.1　マザーボードの概要 4-2
4.2　マザーボードのレイアウト 4-2
4.3　ジャンパ 4-3
4.4　コネクタ 4-5

Chapter 5　BIOSセットアップ

5.1　BIOS 管理更新 5-2
5.1.1　ブートフロッピーディスクを作成する 5-2
5.1.2　ASUS EZ Flash 2 5-3
5.1.3　AFUDOS 5-4
5.1.4　ASUS CrashFree BIOS 3 5-6
5.1.5　ASUS Update 5-8
5.2　BIOS 設定プログラム 5-11
5.2.1　BIOSメニュー画面 5-12
5.2.2　メニューバー 5-12
5.2.3　ナビゲーションキー 5-12
5.2.4　メニュー 5-13
5.2.5　サブメニュー 5-13
5.2.6　構成フィールド 5-13
5.2.7　ポップアップウィンドウ 5-13
5.2.8　スクロールバー 5-13
5.2.9　ヘルプ 5-13

もくじ

5.3 メインメニュー 5-14
5.3.1 System Time [xx:xx:xx] 5-14
5.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx] 5-14
5.3.3 SATA1, SATA2, SATA3, and SATA4 5-15
5.3.4 Configure SATA as [IDE] 5-16
5.3.5 システム情報 5-17
5.4 拡張メニュー 5-18
5.4.1 CPU の設定 5-19
5.4.2 チップセット 5-21
5.4.3 オンボードデバイス設定構成 5-22
5.4.4 USB設定 5-23
5.5 電源メニュー 5-25
5.5.1 Suspend Mode [Auto] 5-25
5.5.2 Repost Video on S3 Resume [No] 5-25
5.5.3 ACPI 2.0 Support [Disabled] 5-25
5.5.5 APMの設定 5-26
5.5.4 ACPI APIC Support [Enabled] 5-26
5.5.6 ハードウェアモニタ 5-28
5.6 ブートメニュー 5-29
5.6.1 ブートデバイスの優先順位 5-29
5.6.2 起動設定 5-30
5.6.3 セキュリティ 5-31
5.7 ツールメニュー 5-33
5.7.1 ASUS EZ Flash 2 5-33
5.7.2 Express Gate 5-34
5.7.3 LED Poster Configuration 5-35
5.8 終了メニュー 5-36

参考

A.1 電源装置の仕様 A-2
A.2 デバッグコード表 A-2
A.3 リモコンを使用する（オプション） A-3
A.4 AHCIドライバをWindows® XPインストールファイルに組み込む A-5

ご注意

Federal Communications Commission Statement（原文）

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canadian Department of Communications Statement（原文）

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Macrovision Corporation Product Notice（原文）

This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

安全上のご注意

電気の取り扱い

- 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 本製品に周辺機器を接続する場合は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。

操作上の注意

- 作業を行う前に、本製品に付属のマニュアルを全て熟読してください。
- 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。本製品は安定した場所に設置してください。
- 本機使用中は、通気孔を塞がないでください。オーバヒート及び故障の原因となります。
- 使用環境温度は最高35ºCです。
- 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

リチウムイオンバッテリについての警告

警告：バッテリは正しく取り付けてください。正しく取り付けないと破裂の原因となります。バッテリは製造元が指定するもの、またはそれに相応するものをご使用ください。
バッテリの廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。

レーザー製品

クラス１レーザー製品

このマニュアルについて

対象読者

本書は、本製品に関する全般情報とインストールの指示について説明しています。本書は上級ユーザーを対象にしています。

本書の構成

本書は次の章から構成されています。

1. **Chapter 1: システムの概要**
   本製品の概要。フロントパネルとリアパネル、および内部コンポーネントなどの、システムの各機能を紹介します。

2. **Chapter 2: 基本取り付け**
   システムのコンポーネントを取り付ける方法の説明です。

3. **Chapter 3: 起動**
   システムの電源を入れ、サポートCDからドライバやユーティリティをインストールする方法を説明します。

4. **Chapter 4: マザーボード情報**
   付属のマザーボードについての情報と、マザーボードのレイアウト、ジャンパ設定、コネクタの位置などの説明です。

5. **Chapter 5: BIOS のセットアップ**
   BIOSセットアップメニューでのシステム設定、変更方法、BIOSパラメータの説明です。

   参考
   電源装置の仕様、リモコン、Windows XPのインストールについての説明です。

このマニュアルの表記について

危険/警告：本製品を取扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。

注意：本製品を取扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。

重要：本製品を取扱う上で、必要な指示です。

注記：本製品を取扱う上でのヒントと 追加情報です。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. **ASUS Webサイト** (http://www.asus.co.jp/)
   各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。

2. **追加ドキュメント**
   パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

パッケージ内容

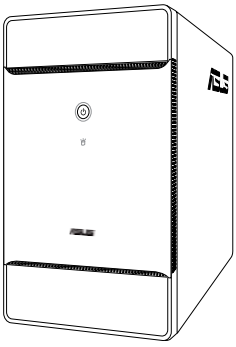
本製品のパッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

添付アイテムが足りないときや破損しているときは、販売店にご連絡ください。

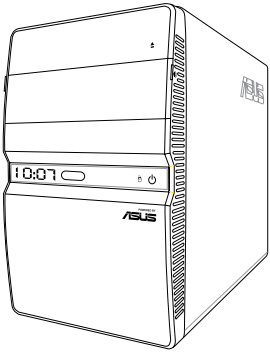
パッケージの内容
1. ASUS T-P5P43ベアボーンシステム
• ASUSマザーボード
• 250 W PFC電源装置
• フロント I/O カードと 3 イン 1 ストレージカードリーダー
2. ケーブル
• AC電源コード
• ATAケーブル
• Serial ATAケーブル
• Serial ATA電源ケーブル
3. サポートCDとソフトウェアCD
4. インストールマニュアル
5. オプションアイテム
• リモコン

Chapter 1

本製品の概要。フロントパネルとリアパネル、および内部コンポーネントなどの、システムの各機能を紹介



T3-P5P43



T4-P5P43*

* 時刻LEDと IR LEDを搭載するのは、T4 シリーズの特定モデルのみです。

システムの概要

1.1 ようこそ

本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品はパワフルで扱いやすいオールインワンベアボーンシステムです。

本ベアボーンシステムはスタイリッシュなミニタワーケースとASUS製マザーボードで構成され、775-land package 版 Intel® プロセッサと 800/1066/1333/1600 MHz FSB 、最大 8 GBシステムメモリをサポートしています。

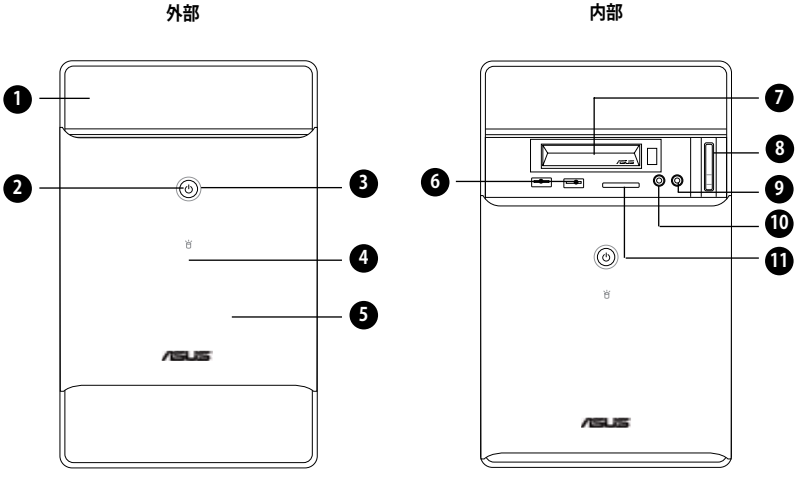
本ベアボーンシステムはオーディオ能力、接続の拡張性、Gigabit LAN を装備し、多様化するユーザーのニーズに応えます。

これらの優れた設計により、本ベアボーンシステムは多様なマルチメディアとコンピュータニーズに革新的技術を提供します。

1.2 フロントパネル

フロントパネルにはシステムコントロールボタン、システムLED、LEDパネルが搭載されています。なお、ストレージカードリーダースロット、I/Oポートのいくつかはフロントパネルカバーを開けると確認できます。

1.2.1 T3-P5P43フロントパネル



1. **ドライブドア：**光学ドライブ用です。
2. **電源ボタン：**このボタンでシステム電源のON/OFFを切り替えます。
3. **HDD LED：**ハードディスクドライブからのデータの読み込み/書き込み中に点灯します。（ブラックのベゼル用）
4. **HDD LED：**ハードディスクドライブからのデータの読み込み/書き込み中に点灯します。（シルバーのベゼル用）
5. **フロントパネル I/Oカバー：**入力/出力ポート用のカバーです。開く際は、このドアを押し下げます。
6. **USB 2.0 ポート：**マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。
7. **ポータブルハードディスクドライブ：**オプションとなります。

- ホットプラグ機能をサポートするには、AHCI モードを有効にする必要があります。Windows® Vista システムでは、OSをインストールする前に、BIOS Setup で AHCI モードを有効にしてください（詳細：ページ 5-16 参照）。Windows® XPシステムでの設定方法については、セクション「**A.4 AHCI ドライバをWindows® XP インストールファイルに組み込む**」をご参照ください。
- 空のポータブルハードディスクドライブをシステムに取り付けてある場合は、システムのパフォーマンスが遅くなるのを防ぐため、システムをONにする前に取り外してください。

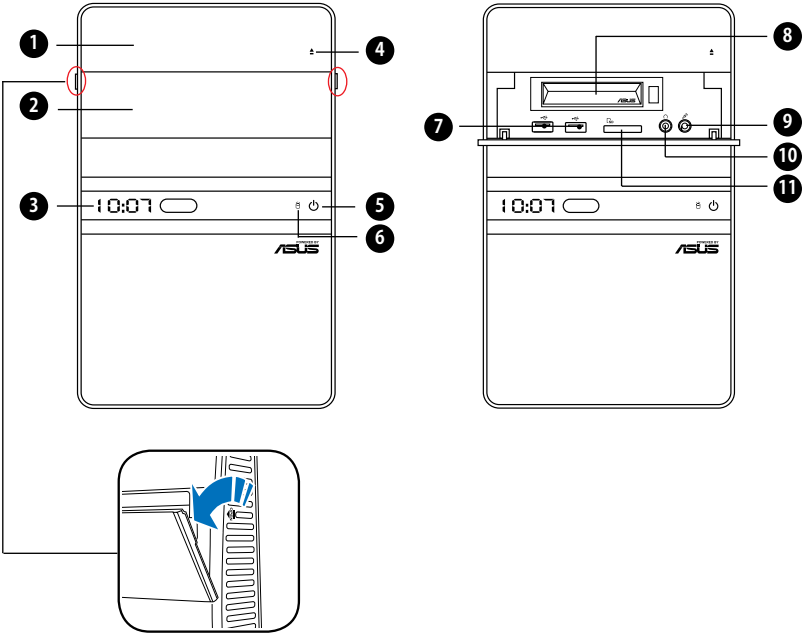
8. **イジェクトボタン：**このボタンを押すと、光学ドライブのトレイが開きます。
9. **マイクポート（ピンク）：**マイクを接続します。
10. **ヘッドホンポート：**ステレオミニプラグでヘッドフォンを接続します。
11. **Secure Digital™/MultimediaCard/Memory Stick（MS）スロット：**Secure Digital™/MultimediaCard/Memory Stick ストレージージカー用のスロットです。

本マニュアルの記載内容はシリーズ全体用に作成されたもので、実際の製品仕様はお買い上げのベアボーンシステムにより異なります。

1.2.2 T4-P5P43 フロントパネル

外部

内部



1. **ドライブドア：**光学ドライブ用のドアです。
2. **フロントパネル I/Oカバー：**入力/出力ポート用のカバーです。開く際はこのドアを押し下げます。
3. **時刻/IR LEDディスプレイ：**オプションとなります。

PCが起動すると、LEDに時刻が表示されます。この時刻はOSが管理するもので、実際の時刻とは誤差が生じる場合があります。

4. **イジェクトボタン ⏏：**このボタンを押すと、光学ドライブのトレイが開きます。
5. **電源ボタン ⏻ ：**このボタンでシステム電源のON/OFFを切り替えます。
6. **HDD LED：**ハードディスクドライブからのデータの読み込み/書き込み中に点灯します。

7. **USB 2.0 ポート :** マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。
8. **ポータブルハードディスクドライブ :** オプションとなります。

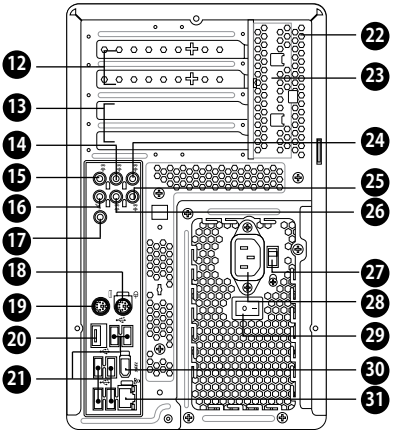
- ホットプラグ機能をサポートするには、AHCI モードを有効にする必要があります。Windows® Vista システムでは、OSをインストールする前に、BIOS Setup で AHCI モードを有効にしてください（詳細：ページ 5-16 参照）。Windows® XPシステムでの設定方法については、セクション「**A.4 ドライバをWindows® XP インストールファイルに組み込む**」をご参照ください。
- 空のポータブルハードディスクドライブをシステムに取り付けてある場合は、システムのパフォーマンスが遅くなるのを防ぐため、システムをONにする前に取り外してください。

9. **マイクポート（ピンク）:** マイクを接続します。
10. **ヘッドホンポート :** ステレオミニプラグでヘッドフォンを接続します。
11. **Secure Digital™/MultimediaCard/Memory Stick（MS）スロット :** Secure Digital™/MultimediaCard/Memory Stick ストレージジカー用のスロットです。

本マニュアルの記載内容はシリーズ全体用に作成されたもので、実際の製品仕様はお買い上げのベアボーンシステムにより異なります。

1.3 バックパネル

バックパネルには、電源コネクタとI/O ポートが搭載されており、各デバイスを簡単に接続することができます。



T3-P5P43/T4-P5P43

12. **拡張スロットカバー：**拡張カードを取り付ける際にこのカバーを取り外します。
13. **拡張スロット：**拡張カードを取り付けます。
14. **リアスピーカー出力ポート（ブラック）：**4チャンネル、6チャンネル、8チャンネルオーディオ構成で、リアスピーカーを接続します。
15. **サイドスピーカー出力ポート（グレイ）：**8チャンネルオーディオ構成で、サイドスピーカーを接続します。
16. **マイクポート（ピンク）：**マイクを接続します。
17. **コアキシャルS/PDIF出力ポート：**コアキシャルS/PIFケーブルを使用して外付けオーディオ出力デバイスを接続します。
18. **PS/2 マウスポート（グリーン）：**PS/2 マウスを接続します。
19. **PS/2 キーボードポート（パープル）：**PS/2 キーボードを接続します。
20. **外部SATAポート：** 外部Serial ATAハードディスクドライブを接続します。

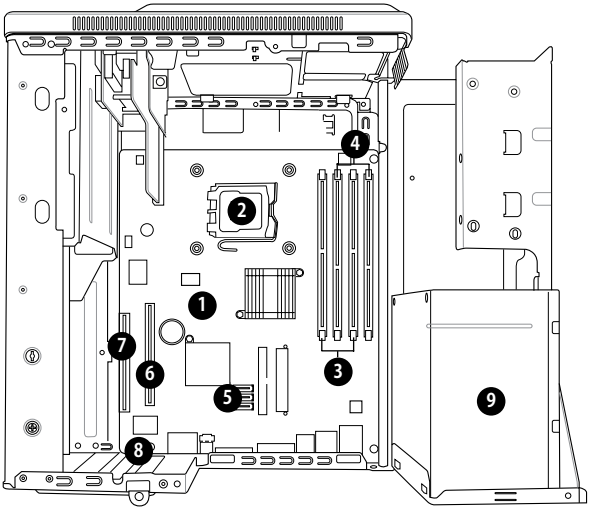
外部SATAポートには、外部SATA用コネクタのみを接続してください。

21. **USB 2.0 ポート 2.0：**マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。
22. **通気孔：**システムケース内部を冷却するファン用です。
23. **拡張カードロック：**取り付けた拡張カードを固定します。詳細はページ 2-18 をご参照ください。
24. **センター&ウーファスピーカー（オレンジ）：**センター/サブウーファスピーカーを接続します。
25. **ライン入力ポート（ライトブルー）：**テーププレーヤーや他のオーディオソースを接続します。6 チャンネルモードでは、このポートはサラウンド出力になります。
26. **ライン出力ポート（ライム）：**ヘッドフォンやスピーカーを接続します。4/ 6 チャンネルモードでは、このポートはフロントスピーカー出力になります。
27. **電圧セレクター：**お使いのエリアの供給電圧に応じ、システム入力電圧を調節することができます。
28. **電源コネクタ：**電源ケーブルを接続します。
29. **電源ボタン：** このボタンでシステム電源のON/OFFを切り替えます。
30. **6ピンIEEE 1394aポート：**IEEE 1394a 対応オーディオ/ビデオデバイス、記憶装置、その他のPC デバイス用で、高速接続を実現します。
31. **LANポート：**ネットワークハブを介し、LANに接続することができます。

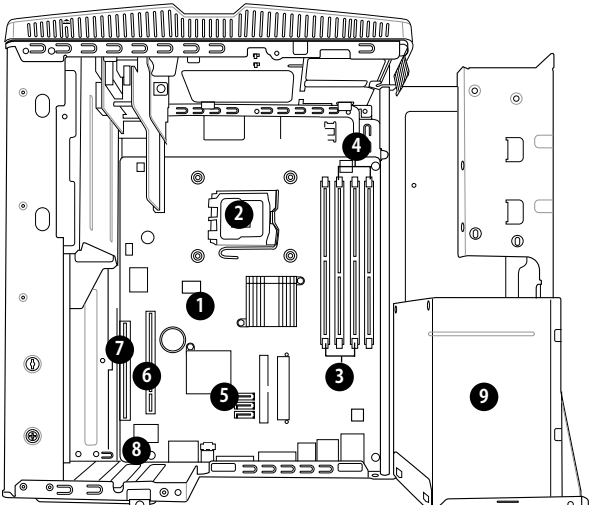
1.4 内部コンポーネント

下の図は、トップカバーと電源装置を取り外した時の内部構造です。取り付けるコンポーネントには、参照用に番号を表示しました。追加システムコンポーネントの取り付けに関する詳細は、Chapter2 をご覧ください。

下の図は、ケースを垂直にし、カバーを開けた状態です。



T3-P5P43

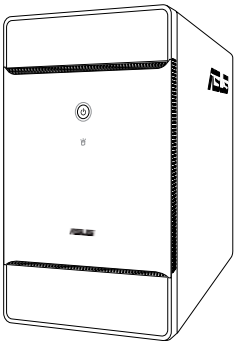


T4-P5P43

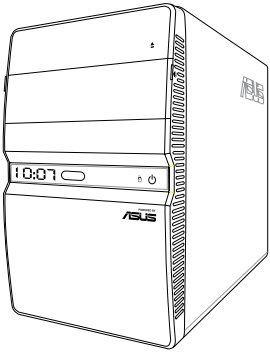
1. ASUSマザーボード
2. ソケットキャップが装着されたLGA775 ソケット
3. DDR2 用メモリスロット
4. DDR3 用メモリスロット
5. Serial ATAコネクタ
6. 単体ビデオカード用PCI Express™ x16 スロット
7. PCI スロット
8. 拡張カードスロット
9. 電源装置

Chapter 2

システムのコンポーネントを取り付
ける方法について



T3-P5P43



T4-P5P43*

* 時刻LEDとIR LEDを搭載するのは、T4シリーズの特定モデルのみです。

基本取り付け

2.1 準備

取り付ける前に、全てのコンポーネントが揃っているか確認してください。

取り付ける基本コンポーネント

1. CPU
2. DDR2/DDR3メモリ
3. 拡張カード
4. ハードディスクドライブ
5. 光学ドライブ

工具

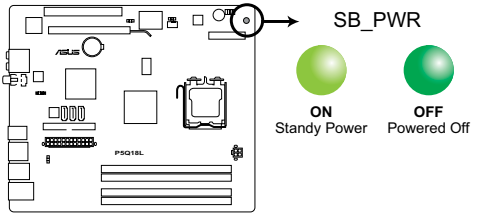
Philips スクリュードライバ

2.2 始める前に

コンポーネントをシステムに取り付ける前に次の事項に留意してください。

- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- ICに触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置くか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。

本マザーボードにはスタンバイLEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します。マザーボードに各パーツを取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。

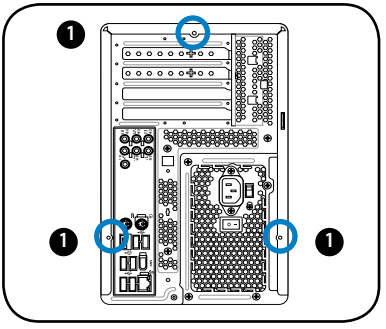


P5Q18L Onboard LED

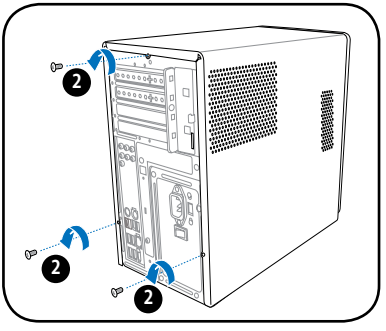
2.3 カバーを取り外す

手順

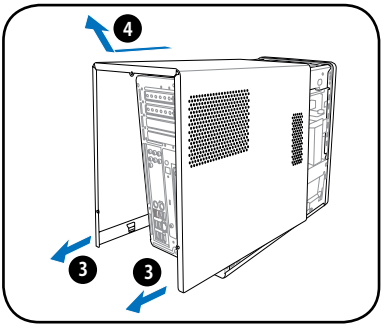
1. リアパネルで、カバーをケースに固定している 3 本のネジの位置を確認します。



2. Phillips スクリュードライバで、カバー用ネジを取り外します。ネジは大切に保管してください。



3. サイドタブがケースから外れるまでカバーをリアパネルの方に慎重に引きます。
4. カバーを持ち上げシステムから外し、脇に置きます。

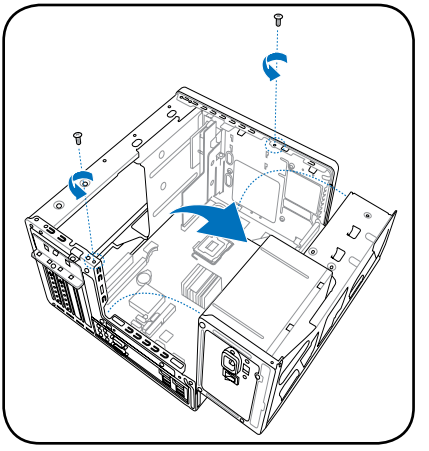


2.4 電源装置

CPU 及び他のシステムコンポーネントを取り付ける前に、電源装置を移動する必要があります。

手順

1. システムを図のようにデスクなどの安定した平面上に水平に慎重に倒します。
2. 電源装置を固定している 2 本のネジを取り外します。
3. 矢印の方向に電源装置を90°ほど持ち上げ移動します。



電源装置を持ち上げる際は、落さないようしっかり手で支えてください。落とした場合、その衝撃によりシステムコンポーネントの破損の原因となることがあります。

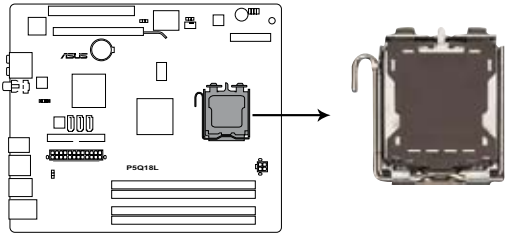
2.5 CPUを取り付ける

- ご購入のボックス版 Intel® LGA775 プロセッサパッケージには、CPU、ヒートシンク、固定装置を取り付けるための説明書が付属しています。このセクションの説明がCPUの説明書と一致していない場合は、CPUの説明書に従ってください。
- マザーボードを確認し、ソケットキャップがソケットに装着されていることと、ソケットの接触部分が曲がっていないことを確認してください。ソケットキャップが装着されていない場合や、ソケットキャップ/ソケット接触部/マザーボードのコンポーネントに不足やダメージが見つかった場合は、すぐに販売店までご連絡ください。不足やダメージが出荷及び運送が原因の場合に限り、ASUSは修理費を負担いたします。
- マザーボードを取り付けた後も、ソケットキャップを保存してください。ASUSは、このソケットキャップが装着されている場合にのみ、RMA（保証サービス）を受け付けます。
- 製品保証は、CPUやソケットキャップの間違った取り付け・取り外しや、ソケットキャップの紛失に起因する故障及び不具合には適用されません。

2.5.1 CPUを取り付ける

手順

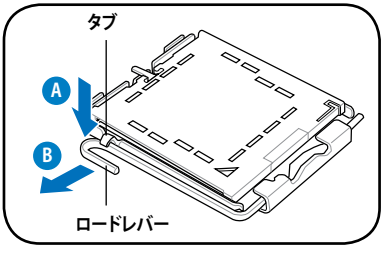
1. マザーボードのCPUソケットの位置を確認します。



P5Q18L CPU socket 775

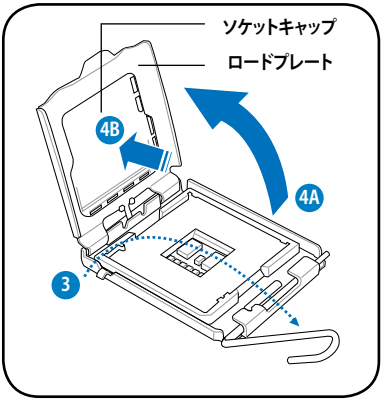
CPUを取り付ける前にCPUソケットを手前に向け、ロードレバーが向かって左側にあることを確認してください。

2. 親指でロードレバーを押し(A)、タブから外れるまで左に動かします(B)。

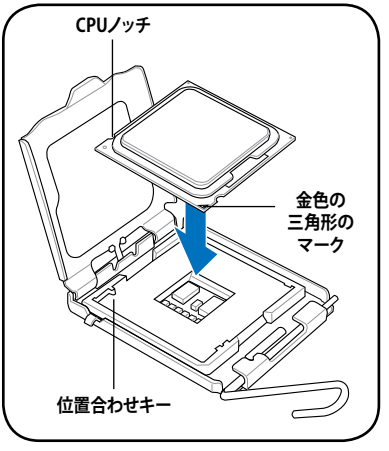


ソケットピンの損傷防止のため、ソケットキャップはCPUを取り付けるまで外さないでください。

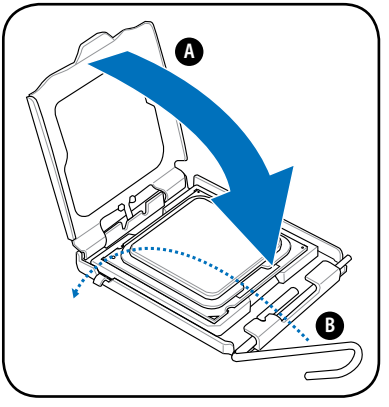
3. 矢印の方向に135° ほどロードレバーを持ち上げます。
4. ロードプレートを親指と人差し指で100° ほど持ち上げ(4A)、ロードプレートウィンドウからソケットキャップを押して取り外します (4B)。



5. CPU に書かれている金色の三角形がソケットの左下隅になるようにCPUをソケットの上に載せます。このとき、ソケットの位置合わせキーは、CPUの溝にぴったり合わせる必要があります。



6. ロードプレートを閉じ(A)、ロードレバー(B)がタブに収まるまで押します。



2.5.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける

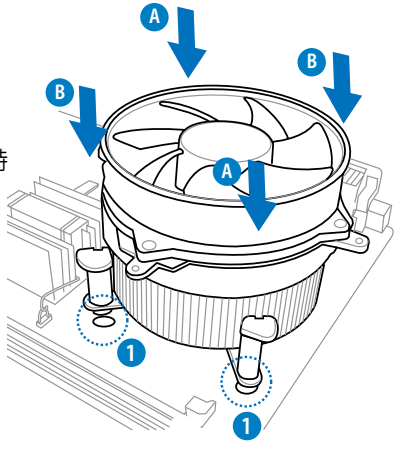
Intel® LGA775 プロセッサ用に、特別に設計されたヒートシンクとファンを組み合わせることで、効率的な冷却を行いCPU パフォーマンスを引き出します。

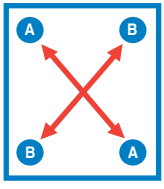
- 箱入りの Intel® プロセッサを購入した場合、パッケージにはヒートシンクとファンが入っています。CPU のみをお求めになった場合、Intel® が認定したマルチディレクションヒートシンクとファンを必ずご使用ください。
- Intel® LGA775 用のヒートシンクとファンにはプッシュピンデザインが採用されており、取り付けの際に特別な工具は必要ありません。

CPUヒートシンクとファンを別々にお買い求めになった場合は、ヒートシンクとファンを取り付ける前に、サーマルグリスがヒートシンクまたはCPUに塗布されていることを確認してください。

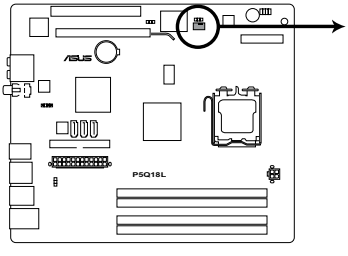
ヒートシンクとファンの取り付け手順

1. 4つのファスナーがマザーボードの穴の位置と合っていることを確認しながら、ヒートシンクをCPUの上に置きます。
2. 対角線上にある2つのファスナーを同時に押し下げ、ヒートシンクとファンを正しい場所に固定します。





3. CPUファンのケーブルをマザーボード上のファンコネクタに接続します。



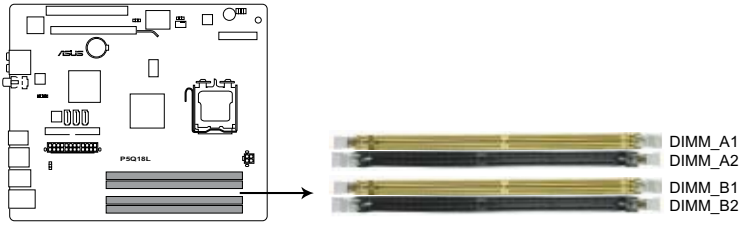
P5Q18L CPU fan connector

CPUファンのケーブルを必ず接続してください。ハードウェアのモニタリングエラーが発生することがあります。

2.6 メモリを取り付ける

本製品には、DDR2 メモリに対応したメモリスロットが 2 基（DIMM_A1 とDIMM_B1、イエロー）、DDR3 メモリに対応したメモリスロットが 2 基（DIMM_A2 とDIMM_B2、Black）搭載されています。

各メモリスロットの位置は図をご参照ください。



P5Q18L 240-pin DDR2 DIMM Slot

2.6.1 メモリ構成

本マザーボードには、512 MB、1 GB、2 GB、4 GBのDDR2 メモリ、または 1 GB、2 GB、4 GBのDDR3 メモリを使用して最大 8 GBのシステムメモリを取り付けることができます。

- 本マザーボードはDDR2 メモリとDDR3 メモリをサポートしていますが、DDR2 メモリとDDR3 メモリを同時に使用することはできません。
- 推奨するメモリ構成以外のメモリ構成を行うと、メモリサイズエラーや起動エラーの原因となります。メモリは次項のリストのものからお選びください。
- DDR2 メモリはDIMM_A1 とDIMM_B1を、DDR3 メモリはDIMM_A2 とDIMM_B2を使用します。なお、メモリは**全く同一**（タイプもサイズも同じもの）のものをペアにしてご使用ください。
- 常に同じCASレイテンシを持つメモリを取り付けてください。またメモリは同じベンダーからお求めになることをお勧めします。
- Windows XP32bit OSでは、4 GB 以上のシステムメモリを取り付けても検出されるシステムメモリは 3 GB以下となります。Windows XP32bit OSでは、3 GB未満のシステムメモリ構成にすることをお勧めします。
- 本マザーボードは 128 Mb チップで構成されるメモリとダブルサイド x16 メモリをサポートしません。

推奨CPUとDRAM周波数

CPU周波数	DRAM周波数	備考
1600	1333	DDR3 用
	1066	DDR2、DDR3 用
	800	DDR2 用
1333	1333	DDR3 用
	1066	DDR2、DDR3 用
	800	DDR2 用
	667	DDR2 用
1066	1066	DDR2、DDR3 用
	800	DDR2 用
	667	DDR2 用
800	800	DDR2 用
	667	DDR2 用

DDR3（1333 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

サイズ	ベンダー	チップNo.	SS/DS	パーツNo.	メモリサポート	
					A*	B*
2048MB	A-DATA	SC63I1B16	DS	K4B1G0846D	•	•
4096MB (kit of 2)	CORSAIR	BoxP/N:TW3X4G1333C9DHX（CM3X2048-1333C9DHX）	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB (kit of 2)	CORSAIR	BoxP/N:TWIN3X2048-1333C9(CM3X1024-1333C9)	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	CORSAIR	CM3X1024-1333C9DHX	DS	Heat-Sink Package		•
1024MB	ELPIDA	EBJ11UD8BAFA-DG-E	DS	J5308BASE-DG-E		•
1024MB	ELPIDA	EBJ11UD8BAFA-DJ-E	DS	J5308BASE-DJ-E	•	•
2048MB (kit of 2)	G.SKILL	F3-10600CL7D-2GBPI	SS	Heat-Sink Package	•	
2048MB (kit of 2)	G.SKILL	F3-10600CL8D-2GBHK	SS	Heat-Sink Package		•
2048MB (kit of 2)	G.SKILL	F3-10600CL9D-2GBPK	SS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB (kit of 2)	G.SKILL	F3-10600CL9D-2GBNQ	DS	Heat-Sink Package	•	•
4096MB (kit of 2)	G.SKILL	F3-10666CL9D-4GBPK	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	KINGMAX	FLFD45F-B8EE9	SS	J1108BASE-DJ-E	•	•
1024MB	Kingston	KVR1333D3N9/1G	SS	J1108BASE-DJ-E	•	•
2048MB	Kingston	KVR1333D3N9/2G	DS	J1108BASE-DJ-E	•	
1024MB	MICRON	MT8JTF12864AY-1G4BYES	SS	Z9HWR	•	•
2048MB	MICRON	MT16JTF25664AY-1G4BYES	DS	Z9HWR	•	•
1024MB	SAMSUNG	M378B2873DZ1-CH9	SS	K4B1G0846D	•	•
1024MB	SAMSUNG	M391B2873DZ1-CH9	SS	K4B1G0846D(ECC)	•	•
2048MB	SAMSUNG	M378B5673DZ1-CH9	DS	K4B1G0846D	•	•
2048MB	SAMSUNG	M391B5673DZ1-CH9	DS	K4B1G0846D(ECC)	•	•
2048MB	Transcend	TS256MLK64V3U	DS	K4B1G0846D	•	•
1024MB	Aeneon	AEH760UD00-13H	DS	AEH93R13H	•	•
1024MB	BUFFALO	FSX1333D3G-1G	SS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	BUFFALO	FSX1333D3G-2G	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB (kit of 2)	Patriot	PDC32G1333LLK	SS	Heat-Sink Package		•

DDR3（1066 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

サイズ	ベンダー	チップNo.	SS/DS	パーツNo.	メモリサポート	
					A*	B*
1024MB	A-DATA	M3OEL3G3I4130A1B5Z	DS	J5308BASE-AE-E-S	•	•
1024MB	CORSAIR	CM3X1024-1066C7	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	Crucial	CT12864BA1067.8SFB	SS	Z9HWQ	•	•
1024MB	ELPIDA	EBJ11UD8BAFA-AG-E	DS	J5308BASE-AC-E	•	•
2048MB(kit of 2)	G.SKILL	F3-8500CL6D-2GBHK	SS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	Hynix	HMT112U6AFP8C-G7N0	SS	H5TQ1G83AFPG7C	•	•
1024MB	Hynix	HYMT112U64ZNF8-G7	SS	HY5TQ1G831ZNFP-G7	•	•
2048MB	Hynix	HMT125U6AFP8C-G7N0	DS	H5TQ1G83AFPG7C	•	•
2048MB	Hynix	HYMT125U64ZNF8-G7	DS	HY5TQ1G831ZNFP-G7	•	•
1024MB	Kingston	KVR1066D3N7/1G	DS	J5308BASE-AC-E	•	•
2048MB	Kingston	KVR1066D3N7/2G	DS	K4B1G0846C-ZCF8	•	•
1024MB	MICRON	MT8JTF12864AY-1G1D1	SS	7VD22	•	•
2048MB	MICRON	MT16JTF25664AY-1G1D1	DS	7VD22	•	•
1024MB	Qimonda	IMSH1GU03A1F1C-10F	SS	IDSH1G-03A1F1C-10F	•	•
1024MB	Qimonda	IMSH1GU03A1F1C-10G	SS	IDSH1G-03A1F1C-10G		•
1024MB	Qimonda	IMSH1GU13A1F1C-10F	DS	IDSH51-03A1F1C-10F	•	•
2048MB	Qimonda	IMSH2GU13A1F1C-10F	DS	IDSH1G-03A1F1C-10F	•	•
2048MB	Qimonda	IMSH2GU13A1F1C-10G	DS	IDSH1G-03A1F1C-10G	•	•
1024MB	Aeneon	AEH760UD00-10FA98X	DS	AEH93R10F	•	•
1024MB	WINTEC	3DU3191A-10	DS	IDSH51-03A1F1C-10F	•	•

DDR2（1066 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップNo.	C/L	ブランド	メモリサポート	
							A*	B*
A-DATA	ADQYE1A08	1024MB	SS	Heat-Sink Package	5	N/A	•	•
A-DATA	ADQYE1B16	2048MB	DS	Heat-Sink Package	5	N/A		•
Apacer	"Box P/N:CH.02GAF.C0KK2 (78.0AG9S.9KF)"	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Apacer	"BoxP/N:CH.04GAF.F0KK2 (78.AAGAL.9KF)"	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
CORSAIR	"Box P/N:TWIN2X2048-8500C5D (CM2X1024-8500C5D) (EPP)"	1024MB	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A		•
CORSAIR	"Box P/N:TWIN2X4096-8500C5DF (CM2X2048-8500C5D) (EPP)"	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Crucial	BL12864AA1065.16FD5(EPP)	1024MB	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	•
G.SKILL	F2-8500CL5D-2GBPK	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
G.SKILL	F2-8500CL5D-4GBPK	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
GEIL	GB22GB8500C5DC	1024MB	SS	GL2L128M88BA25AB	5-5-5-15	GEIL	•	•
GEIL	GE22GB1066C5DC	2048MB(Kit of 2)	SS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
GEIL	GE24GB1066C5QC	4096MB(Kit of 4)	SS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
GEIL	GB24GB8500C5DC	4096MB(Kit of 2)	DS	GL2L128M88BA25AB	5-5-5-15	GEIL	•	•
GEIL	GB24GB8500C5QC	4096MB(Kit of 4)	DS	GL2L128M88BA25AB	5-5-5-15	GEIL	•	•
GEIL	GE24GB1066C5DC	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A		•

（次項へ）

DDR2（1066 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップNo.	C/L	ブランド	メモリサポート	
							A*	B*
GEIL	GX24GB8500C5UDC	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Hynix	HYMP564U64FP8-G7	512MB	SS	HY5PS12821FFP-G7	7	HYNIX	•	•
Hynix	HYMP 512U64FP8-G7	1024MB	DS	HY5PS12821FFP-G7	7	HYNIX	•	•
KINGMAX	KLEC28F-A8KI5-EGAS	512MB	SS	KKA8FEIBF-HJK-18E	N/A	N/A	•	•
KINGMAX	KLED48F-A8KI5-EPA	1024MB	DS	KKA8FEIBF-HJK-18A	N/A	N/A	•	
KINGMAX	KLEE88F-B8KB5	2048MB	DS	KKB8FFBXF-CFP-18A	N/A	KINGMAX		•
Kingston	KHX8500D2/ 512	512MB	SS	Heat-Sink Package	N/A	N/A		•
Kingston	KHX8500D2K2/1G	1024MB(Kit of 2)	SS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	•
Kingston	KVR1066D2N7/ 512	512MB	SS	E5108AJBG -1J-E	N/A	N/A	•	
Kingston	KHX8500D2/1G	1024MB	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	
Kingston	KHX8500D2K2/2G	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	•
Kingston	KHX8500D2K2/2GN(EPP)	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	•
Kingston	KVR1066D2N7/1G	1024MB	DS	E5108AJBG -1J-E	N/A	N/A	•	•
MICRON	MT8HTF12864AY-1GAE1	1024MB	SS	D9JKH	7	MICRON	•	•
MICRON	MT16HTF25664AY-1GAE1	2048MB	DS	D9JKH	7	MICRON	•	
OCZ	"Box P/N:OCZ2N10662GK (OCZ2N10662GK) (EPP) "	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	
OCZ	OCZ2RPR10664GK	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	•
Qimonda	HYS64T64000EU-19F-C	512MB	SS	HYB18T 512800CF19F	6	QIMONDA	•	•
Qimonda	HYS64T128020EU-1.9-C	1024MB	DS	HYB18T 512800CF19	7	QIMONDA	•	•
Qimonda	HYS64T128020EU-19F-C	1024MB	DS	HYB18T 512800CF19F	N/A	N/A		•
SAMSUNG	M378T2953GZ3-CF8	2048MB	DS	K4T51083QG	7	SAMSUNG	•	•
Transcend	TX1066QLU-2GK	2048MB(Kit of 2)	SS	Heat-Sink Package	5	N/A	•	•
BUFFALO	FSX1066D2C-K4G	2048MB	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Elixir	M2Y1G64TU8HC4B-BD	1024MB	DS	N2TU 51280CE-BD	6	ELIXIR	•	•
Mushkin	996535	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	N/A	N/A	•	
Mushkin	996612	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Mushkin	996619	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A		•
PQI	MEAHR422LA0102-07D3	1024MB	DS	PQE2648S19R	N/A	PQI	•	•
Team	"BoxP/N:TXDD2048M1066HC5DC (TXDD1024M1066HC5) "	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Team	"BoxP/N:TXDD2048M1066HC5DC-D (TXDD1024M1066HC5-D) "	2048MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Team	"BoxP/N:TXDD4096M1066HC5DC-D (TXDD2048M1066HC5-D) "	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•

DDR2（800 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

サイズ	ベンダー	チップNo.	SS/DS	パーツNo.	メモリサポート	
					A*	B*
2048MB	A-DATA	M2OAD6H3J4171Q1E52	DS	AD20908A8A-25EG	•	•
1024MB	Apacer	78.01GA0.9K5	SS	AM4B5808CQJS8E	•	•
512MB	Apacer	78.91G9I.9K5	SS	AM4B5708JQJS8E	•	•
2048MB	Apacer	78.A1GA0.9K4	DS	AM4B5808CQJS8E	•	•
4096MB(Kit of 2)	CORSAIR	"Box P/N:TWIN2X4096-6400C5(CM2X2048-6400C5)"	DS	Heat-Sink Package	•	•
4096MB(Kit of 2)	CORSAIR	"BoxP/N:TWIN2X4096-6400C4DHX(CM2X2048-6400C4DHX)"	DS	Heat-Sink Package	•	
4096MB(Kit of 2)	CORSAIR	"BoxP/N:TWIN2X4096-6400C5DHX(CM2X2048-6400C5DHX)"	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	CORSAIR	CM2X1024-6400C4	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	Crucial	BL12864AA804.16FD3	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	Crucial	BL12864AA804.16FD	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	Crucial	BL12864AL804.16FD3	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	ELPIDA	EBE10EE8ABFA-8E-E	SS	E1108AB-8E-E(ECC)	•	•
1024MB(Kit of 2)	G.SKILL	F2-6400CL5D-1GBNQ	SS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	G.SKILL	F2-6400CL4D-2GBPK	DS	Heat-Sink Package	•	
4096MB(Kit of 2)	G.SKILL	F2-6400CL4D-4GBPK	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	G.SKILL	F2-6400CL5D-2GBNQ	DS	Heat-Sink Package	•	
4096MB(Kit of 2)	G.SKILL	F2-6400CL5D-4GBPQ	DS	Heat-Sink Package	•	•
4096MB(Kit of 2)	G.SKILL	F2-6400CL6D-4GBMQ	DS	Heat-Sink Package	•	
8192MB(Kit of 2)	G.SKILL	F2-6400CL6D-8GBNQ	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	G.SKILL	F2-6400PHU2-2GBNR	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB(Kit of 2)	GEIL	GB22GB6400C4DC	DS	GL2L64M088BA30EB	•	
2048MB(Kit of 2)	GEIL	GB22GB6400C5DC	DS	GL2L64M088BA30EB	•	•
4096MB(Kit of 2)	GEIL	GB24GB6400C4DC	DS	GL2L128M88BA25AB	•	•
4096MB(Kit of 4)	GEIL	GB24GB6400C4QC	DS	GL2L64M088BA30EB	•	
4096MB(Kit of 2)	GEIL	GB24GB6400C5QC	DS	GL2L64M088BA30EB	•	•
8192MB(Kit of 4)	GEIL	GB28GB6400C4QC	DS	GL2L128M88BA25AB	•	•
2048MB(Kit of 2)	GEIL	GE22GB800C4DC	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB(Kit of 2)	GEIL	GE22GB800C5DC	DS	Heat-Sink Package	•	•
4096MB(Kit of 4)	GEIL	GE24GB800C4QC	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	GEIL	GE24GB800C5DC	DS	Heat-Sink Package	•	•
4096MB(Kit of 4)	GEIL	GE24GB800C5QC	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	GEIL	GE28GB800C5QC	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	GEIL	GX22GB6400C4USC	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB(Kit of 2)	GEIL	GX22GB6400DC	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	GEIL	GX22GB6400LX	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB(Kit of 2)	GEIL	GX22GB6400UDC	DS	Heat-Sink Package		•
1024MB	Hynix	HYMP 512U64CP8-S5	DS	HY5PS12821CFP-S5	•	•
512MB	KINGMAX	KLDC28F-A8KI5	SS	KKA8FEIBF-HJK-25A	•	•
1024MB	KINGMAX	KLDD48F-A8KI5	DS	KKA8FEIBF-HJK-25A	•	•
2048MB	KINGMAX	KLDE88F-B8KB5	DS	KKB8FFBXF-CFA-25A	•	•
512MB	KINGSTON	KHX6400D2/ 512	SS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB(Kit of 2)	KINGSTON	KHX6400D2LLK2/1GN(EPP)	SS	Heat-Sink Package	•	•
512MB	KINGSTON	KVR800D2N5/ 512	SS	E5108AJBG-8E-E	•	•

（次項へ）

DDR2（800 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

サイズ	ベンダー	チップNo.	SS/DS	パーツNo.	メモリサポート	
					A*	B*
1024MB	KINGSTON	KVR800D2N5/1G	SS	HY5PS1GB31CFP-S5	•	•
2048MB	KINGSTON	KHX6400D2/2G	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	KINGSTON	KHX6400D2LL/1G	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	KINGSTON	KVR800D2N5/1G	DS	E5108AJBG-8E-E	•	•
2048MB	KINGSTON	KVR800D2N5/2G	DS	E1108ACBG-8E-E	•	•
1024MB	KINGSTON	KVR800D2N6/1G	DS	E5108AJBG-8E-E	•	•
4096MB	KINGSTON	KVR800D2N6/4G	DS	E2108ABSE-8G-E	•	•
512MB	NANYA	NT 512T64U880BY-25C	SS	NT5TU64M8BE-25C	•	•
1024MB	NANYA	NT1GT64U8HB0BY-25C	DS	NT5TU64M8BE-25C	•	•
1024MB	NANYA	NT1GT64U8HCOBY-25D	DS	NT5TU64M8CE-25D	•	•
2048MB	NANYA	NT2GT64U8HC0BY-AC	DS	NT5TU128M8CE-AC	•	•
1024MB	OCZ	OCZ2FX800C32GK	DS	Heat-Sink Package	•	
1024MB	OCZ	OCZ2G8001G	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB(Kit of 2)	OCZ	OCZ2P800R22GK	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	PSC	AL8E8F73C-8E1	DS	A3R1GE3CFF734MAA0E	•	•
2048MB	Qimonda	HYS64T256020EU-25F-C2	DS	HYB18T1G800C2F-25F	•	•
1024MB	SAMSUNG	M378T2863QZS-CF7	SS	K4T1G084QQ	•	•
512MB	SAMSUNG	M378T6553GZS-CF7	SS	K4T51083QG	•	•
1024MB	SAMSUNG	M391T2863QZ3-CF7	SS	K4T1G084QQ(ECC)	•	•
1024MB	SAMSUNG	M378T2953GZ3-CF7	DS	K4T51083QG	•	•
2048MB	SAMSUNG	M378T5663QZ3-CF7	DS	K4T1G084QQ(ECC)	•	•
2048MB	SAMSUNG	M391T5663QZ3-CF7	DS	K4T1G084QQ	•	•
1024MB	Super Talent	T800UB1GC4	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	Transcend	JM800QLU-1G	SS	TQ243ECF8	•	•
1024MB	Transcend	JM800QLJ-1G	DS	TQ123PJF8	•	•
2048MB	Transcend	JM800QLU-2G	DS	TQ243PCF8	•	•
1024MB	Aeneon	AET760UD00-25DC08X	SS	AET03R25DC	•	•
1024MB	Aeneon	AET760UD00-25DB97X	DS	AET93R25DB	•	•
2048MB	Aeneon	AET860UD00-25DC08X	DS	AET03R25DC		•
1024MB	Asint	SLY2128M8-JGE	SS	DDRII1208-GE	•	•
512MB	CENTURY	28V2H8	SS	HY5PS12821BFP-S5	•	•
1024MB	CENTURY	28VOH8	DS	HY5PS12821BFP-S5	•	•
1024MB	Elixir	M2Y1G64TU88D4B-AC	SS	N2TU1G80DE-AC	•	•
1024MB	Elixir	M2Y1G64TU8HB0B-25C	DS	N2TU 51280BE-25C	•	
2048MB	Elixir	M2Y2G64TU8HD4B-AC	DS	N2TU1G80DE-AC	•	•
2048MB	Kingbox	N/A	DS	D9HNL	•	•
2048MB	Kingbox	N/A	DS	EPD2128082200E-3	•	•
1024MB	Oci	04701G16CZ5D2A	DS	64M8PC6400	•	•
512MB	Patriot	PSD2 51280081	SS	PM64M8D2BU-25EC	•	•
2048MB	Patriot	PSD22GB002	DS	PM128M8D2BU-25KC	•	•
1024MB	Team	TEDD1024M800HC5	DS	Heat-Sink Package	•	•
2048MB	Team	TEDD2048M800HC5	DS	Heat-Sink Package	•	•
1024MB	UMAX	U2S12D30TP-8E	DS	D48001GP3-63BJU	•	•
2048MB	UMAX	U2S24D30TP-8E	DS	D48002GP0-73BCU	•	•

DDR2（667 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップNo.	C/L	ブランド	メモリサポート	
							A*	B*
Apacer	78.01G9O.9K5	1024MB	SS	AM4B5808CQJS7E	N/A	APACER	•	•
Apacer	78.91G92.9K5	512MB	SS	AM4B5708JQJS7E	N/A	APACER	•	•
Apacer	78.A1G9O.9K4	2048MB	DS	AM4B5808CQJS7E	N/A	APACER	•	•
CORSAIR	VS 512MB667D2	512MB	SS	64M8CFEG	N/A	N/A	•	•
CORSAIR	VS1GB667D2	1024MB	DS	64M8CFEG	N/A	N/A	•	•
crucial	BL6464AA663.8FD	512MB	SS	Heat-Sink Package	3	N/A	•	•
crucial	BL12864AA663.16FD2	1024MB	DS	Heat-Sink Package	3	N/A	•	•
crucial	BL12864AA663.16FD	1024MB	DS	Heat-Sink Package	3	N/A	•	
crucial	BL12864AL664.16FD	1024MB	DS	Heat-Sink Package	3	N/A	•	
ELPIDA	EBE51UD8AEFA-6E-E	512MB	SS	E5108AE-6E-E	5	ELPIDA	•	•
G.SKILL	F2-5300CL5D-4GBMQ	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
G.SKILL	F2-5400PHU2-2GBNT	2048MB(Kit of 2)	DS	D264M8GCF	5-5-5-15	G.SKILL	•	•
GEIL	GX21GB5300SX	1024MB	DS	Heat-Sink Package	3-4-4-8	N/A	•	•
GEIL	GX22GB5300LX	2048MB	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
GEIL	GX24GB5300LDC	4096MB(Kit of 2)	DS	Heat-Sink Package	5-5-5-15	N/A	•	•
Hynix	HYMP112U64CP8-Y5	1024MB	SS	HY5PS1G831CFP-Y5	5	Hynix	•	•
Hynix	HYMP 512U64CP8-Y5	1024MB	DS	HY5PS12821CFP-Y5	5	Hynix	•	•
KINGSTON	KVR667D2N5/ 512	512MB	SS	D6408TEBGGL3U	5	KINGSTON	•	•
KINGSTON	KVR667D2E5/1G	1024MB	DS	E5108AGBG-6E-E(ECC)	N/A	ELPIDA	•	•
KINGSTON	KVR667D2E5/2G	2048MB	DS	D9HNL(ECC)	N/A	MICRON	•	•
KINGSTON	KVR667D2N5/1G	1024MB	DS	E5108AGBG-6E-E	N/A	KINGSTON	•	•
KINGSTON	KVR667D2N5/1G	1024MB	DS	E5108AJBG-8E-E	N/A	ELPIDA	•	•
KINGSTON	KVR667D2N5/1G	1024MB	DS	HY5PS12821CFP-Y5	N/A	Hynix	•	•
KINGSTON	KVR667D2N5/2G	2048MB	DS	E1108AB-6E-E	N/A	ELPIDA	•	•
KINGSTON	KVR667D2N5/2G	2048MB	DS	HY5PS1G831CFP-Y5	N/A	Hynix	•	•
NANYA	NT 512T64U88B0BY-3C	512MB	SS	NT5TU64M8BE-3C	5	NANYA	•	•
NANYA	NT2GT64U8HB0JY-3C	2048MB	DS	NT5TU128M8BJ-3C	5	NANYA	•	•
PSC	AL7E8E63J-6E1	1024MB	DS	A3R12E3JFF719A9T02	5	PSC	•	•
Qimonda	HYS64T256020EU-3S-C2	2048MB	DS	HYB18T1GB00C2F-3S	555-12	Qimonda	•	•
SAMSUNG	M378T6553EZS-CE6	512MB	SS	K4T51083QE	5	SAMSUNG	•	•
SAMSUNG	M378T2953EZ3-CE6	1024MB	DS	K4T51083QE	5	SAMSUNG	•	•
SAMSUNG	M378T5263AZ3-CE6	4096MB	DS	K4T2G084QA-HCE6	5	SAMSUNG	•	•
Super Talent	T6UA 512C5	512MB	SS	Heat-Sink Package	5	N/A	•	•
Super Talent	T6UB1GC5	1024MB	DS	Heat-Sink Package	5	N/A	•	•
Transcend	JM667QLU-1G	1024MB	SS	TQ243ECF8	5	Transcend	•	•
Transcend	JM667QLU-2G	2048MB	DS	TQ243ECF8	5	Transcend	•	•
TwinMOS	8D-23JK5M2ETP	512MB	SS	TMM6208G8M30C	5	TwinMOS	•	•
Aeneon	AET760UD00-30B97X	1024MB	DS	AET93R30DB	5	AENEON	•	•
Aeneon	AET860UD00-30DB08X	2048MB	DS	AET03F30DB	5	AENEON	•	•
Asint	SLX264M8-J6E	512MB	SS	DDRII6408-6E	N/A	Asint	•	•
Asint	SLY2128M8-J6E	1024MB	SS	DDRII1208-6E	N/A	Asint	•	•
CENTURY	26V2H8	512MB	SS	HY5PS12821CFP-Y5	5	Hynix	•	•
CENTURY	26VOH8	1024MB	DS	HY5PS12821CFP-Y5	5	Hynix	•	•
Dynet	DNHM5U 512C8FE-A6	512MB	SS	DN5HS82CFE-A6	N/A	Dynet	•	•

（次項へ）

DDR2（667 MHz）QVL（メモリ推奨ベンダーリスト）

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップNo.	C/L	ブランド	メモリサポート	
							A*	B*
Kingbox	N/A	1024MB	SS	EPD2128082200E-4	N/A	N/A	•	•
Kingbox	N/A	1024MB	DS	EPD264082200E-4	N/A	N/A	•	•
Kingbox	N/A	1024MB	DS	EPD264082200N-4	N/A	Kingbox	•	•
MDT	M 512-667-8	512MB	SS	18D 51280D-30648	4	MDT	•	•
MDT	M924-667-16	1024MB	DS	18D 51280D-30646E	4	MDT	•	•
Patriot	PSD2 51266781	512MB	SS	PM64M8D2BU-3KC	N/A	N/A	•	•
Patriot	PSD21G6672	1024MB	DS	PM64M8D2BU-3PAC	5	Patriot	•	•
UMAX	D46701GP3-63BJU	1024MB	DS	U2S12D30TP-6E	N/A	UMAX	•	•
UMAX	D46702GP0-73BCU	2048MB	DS	U2S24D30TP-6E	N/A	UMAX	•	•

SS - シングルサイド / DS - ダブルサイド
メモリサポート：

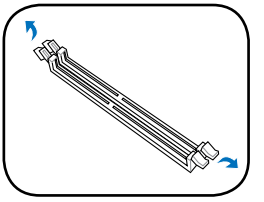
- **A*：**シングルチャンネルメモリ構成として、1 枚のモジュールを任意のスロットに取り付けることが可能。
- **B*：**1 組のデュアルチャンネルメモリ構成として、2 枚 1 組のメモリをいずれかのイエローのスロットに取り付けることが可能。

最新のQVLは、ASUSのWebサイト（http://www.asus.co.jp/）をご覧ください。

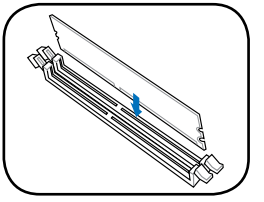
2.6.2 メモリを取り付ける

手順

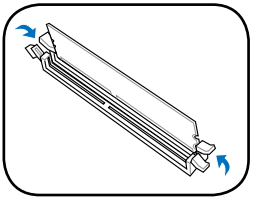
1. メモリスロットの位置を確認します。
2. クリップを外側に押して、メモリスロットのロックを解除します。



3. メモリのノッチがスロットの切れ目に一致するように、メモリをスロットに合わせます。



4. クリップが所定の場所に戻りメモリが正しく取り付けられるまで、メモリをスロットにしっかり押し込みます。



メモリは取り付ける向きがあります。間違った向きでメモリを無理にスロットに差し込むと、メモリが損傷する原因となります。

2.7 拡張カードを取り付ける

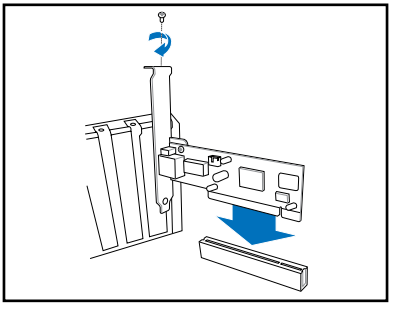
本マザーボードには、PCI スロット 1 基と、PCI Express™ x16 スロット 1 基が搭載されています。拡張カードを取り付ける場合は、本項の拡張スロットに関する説明をお読みください。

拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷や、マザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

2.7.1 拡張スロット

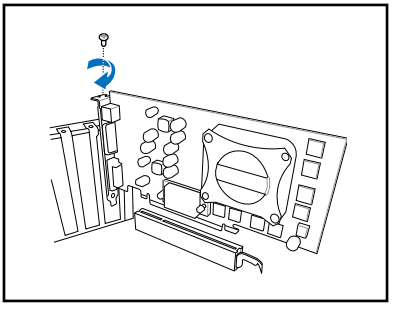
PCI スロット

LAN カード、SCSI カード、USBカード等の PCI 規格準拠のカードをサポートしています。図はLANカードを取り付けたものです。



PCI Express™ x16 スロット

PCI Express 規格準拠のPCI Express™ x16 ビデオカードをサポートしています。図はビデオカードを取り付けたものです。

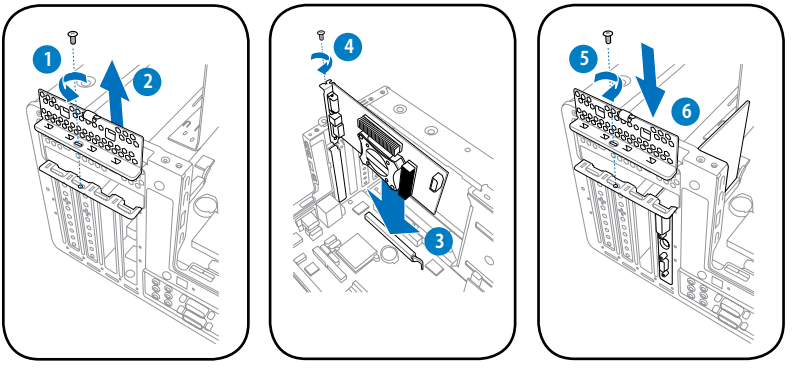


本製品のケースは 192 mm x 19 mm 以下の PCI Express x 16 カードのみをサポートしています。

2.7.2 拡張カードを取り付ける

手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルを読み、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. 金属ブラケットロックネジを外します。
3. 金属ブラケットロックを取り外します。
4. カードコネクタとスロットの位置を合わせ、しっかり押し込みます。
5. カードをネジ（× 1）で固定します。
6. 金属ブラケットロックを元に戻し、ネジ（× 1）で固定します。



標準の割り込み割り当て

IRQ	標準機能
0	システムタイマー
1	キーボードコントローラ
2	スレーブコントローラINTR出力
3	Serial ポートA
4	Serial ポートB
5	Parallel ポート /ジェネリック
6	フロッピーディスク
7	ACPI モード（使用する場合）
8	内部リアルタイムクロック
9	ジェネリック
10	ジェネリック
11	ジェネリック
12	PS/2 対応マウスポート
13	チップセット
14	SATAポート
15	SATAポート

IRQ割り当て

	A	B	C	D	E	F	G	H
PCI スロット	---	---	---	---	---	---	---	共有
PCI Express x16 スロット	共有	---	---	---	---	---	---	---
オンボードUSBコントローラ 0	---	---	---	---	---	---	---	共有
オンボードUSBコントローラ 1	---	---	---	共有	---	---	---	---
オンボードUSBコントローラ 2	---	---	共有	---	---	---	---	---
オンボードUSBコントローラ 3	共有	---	---	---	---	---	---	---
オンボードUSBコントローラ 4	共有	---	---	---	---	---	---	---
オンボードUSBコントローラ 5	---	---	---	---	---	共有	---	---
オンボードUSB 2.0コントローラ	---	---	共有	---	---	---	---	---
オンボード Azalia Audio	---	---	---	---	---	---	共有	---
オンボード IDE	---	共有	---	---	---	---	---	---
オンボード LAN	共有	---	---	---	---	---	---	---
オンボード 1394	---	---	---	共有	---	---	---	---

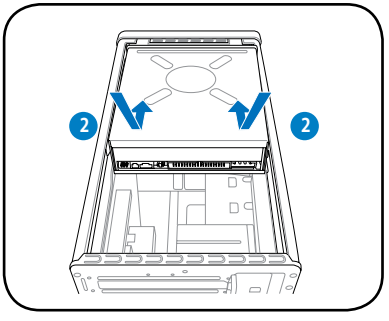
PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバがIRQの共有をサポートすること、または、カードが IRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQ を要求する 2 つの PCI グループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなることがあります。

2.8 光学ドライブを取り付ける

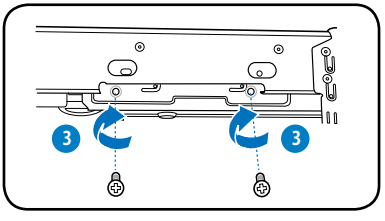
システムには光学ドライブ用に 5.25 インチドライブベイが搭載されています。

手順

1. ケースを図のように垂直に置きます。
2. 光学ドライブを上にある5.25 インチドライブベイに挿入します。次にドライブのネジ穴とベイのネジ穴の位置が合うよう、ドライブをゆっくりベイに入れてください。



3. ４本のネジをベイの両サイドに入れ、光学ドライブをベイに固定します。
4. IDE プラグと電源プラグをドライブ背面にあるコネクタに接続します。

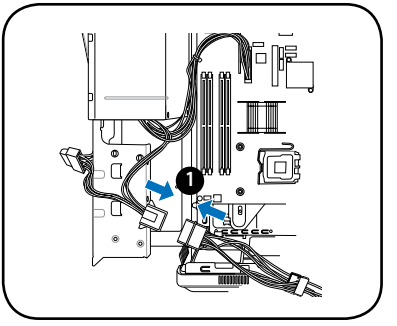


2.9 Serial ATA ディスクドライブを取り付ける

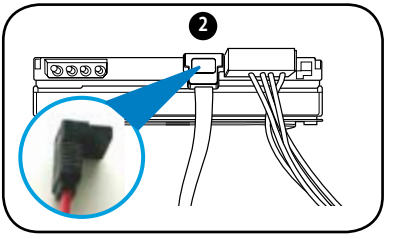
本システムは Serial ATA ハードディスクドライブを 1 台サポートしています。

手順

1. SATA 電源ケーブルを電源装置のプラグに接続します。

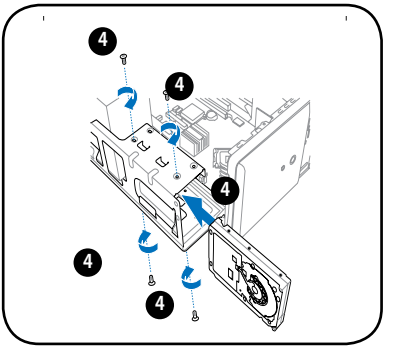


2. SATA ケーブルと電源プラグをドライブ背面にあるコネクタに接続します。



3. HDD トレイの場所を確認します。

4. HDD PCB がケースの上部を向くよう、ハードディスクドライブをトレイに挿入し、4 本のネジで固定します。



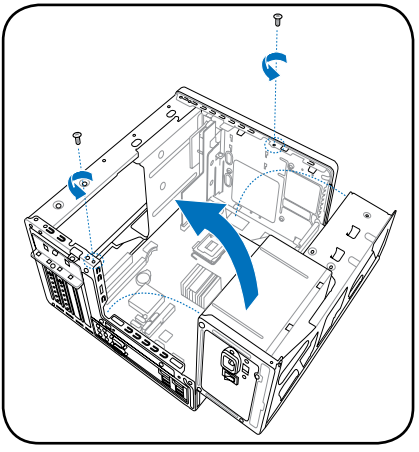
5. SATA ケーブルをマザーボードのSATA コネクタに接続します。プラスチックコイルでケーブルを全て束ねます。

2.10 電源装置を元に戻す

システムコンポーネントを取り付け、各ケーブルを再び接続したら、電源装置を元に戻します。

手順

1. 必要に応じ、4ピン12V電源プラグをマザーボードのATX12Vコネクタに接続します。
2. 必要に応じ、24ピンATX電源プラグをマザーボードのATXPWR コネクタに接続します。
3. 光学ドライブ電源コネクタを接続します。
4. 電源装置を矢印の方向へ移動し、元の状態に戻します。
5. 初めに外したネジで電源装置を固定します。

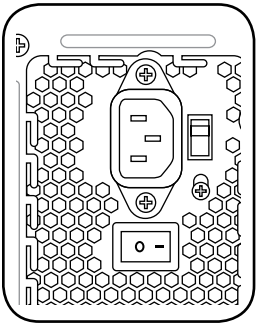


電源装置のケーブルは CPU/ケースファンと接触しないよう配線してください。

電圧セレクター

電源装置の電源コネクタの隣には115V/230V電圧セレクタースイッチが付いています。お使いのエリアの電圧に応じ、システム入力電圧を選択してください。

お使いのエリアの電圧が100-127Vの場合は、115Vを選択します。200-240Vの場合は、230Vを選択します。日本の電源電圧は100 Vですので、115Vを選択してください。

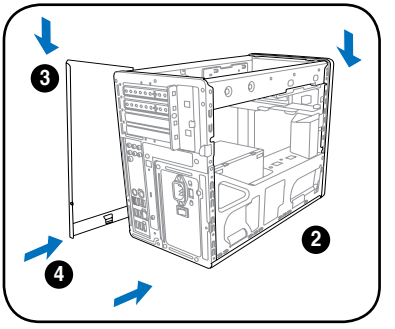


230 Vのエリアで115Vを選択すると、システムの故障の原因となります!

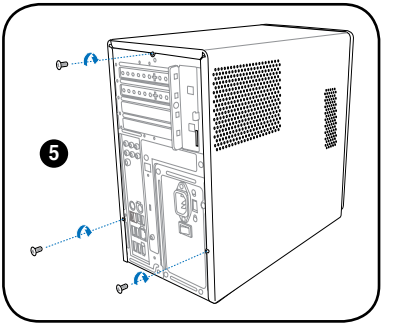
2.11 カバーを再び取り付ける

手順

1. 図のようにケースを垂直に置きます。
2. カバー前部のエッジがフロントパネルカバーから 5 センチ以上離れるように被せます。カバータブをケースレールとフロントパネルタブにはめます。
3. 図のように、カバーのエッジ前面を下げます。
4. カバーを所定の位置まで、フロントパネル方向に押します。

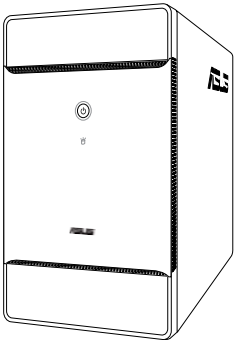


5. 外した 3 本のネジでカバーを固定します。

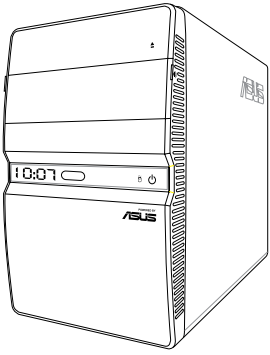


Chapter 3

システムの電源をオンにする方法、サポートCDからドライバやユーティリティをインストールする方法について



T3-P5P43



T4-P5P43*

* 時刻LEDとIR LEDを搭載するのは、T4シリーズの特定モデルのみです。

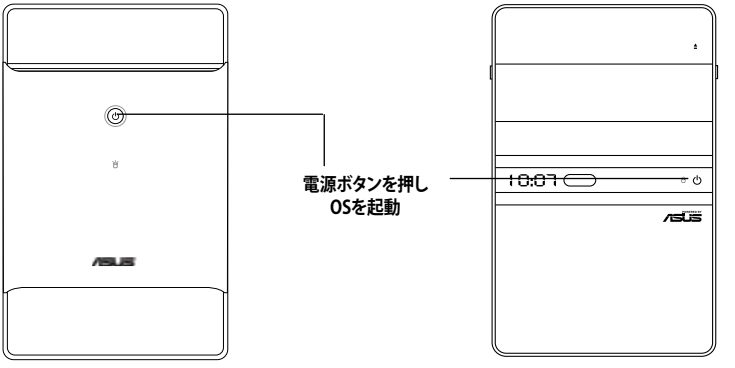
3.1 OSをインストールする

本ベアボーンシステムは、Windows® 32bit XP / 32bit Vista / 64bit XP / 64bit Vista OSをサポートしています。ハードウェアの機能を最大に活用するために、OSは定期的にアップデートしてください。

ここで説明するセットアップ手順は一例です。詳細については、OSのマニュアルをご参照ください。

3.2 起動する

電源ボタンはフロントパネル上にあります。システム電源ボタン (⏻)を押すと、OS が起動します。



T3-P5P43　　T4-P5P43

Windows® 環境では、⏻ ボタンの動作はOSの設定により決定され、シャットダウン、再起動、スリープモード（S3）への切り替えなどを設定することができます。

3.3 サポートCD情報

添付のサポートCDには、ソフトウェアや各種ユーティリティドライバが収録されています。

- 各画面の表示とドライバのオプションは、OSのバージョンにより異なる場合があります。
- サポートCDの内容は製品改善のため予告なく変更されるBIOSがあります。なお、アップデートはASUSのWebサイトで公開しております。

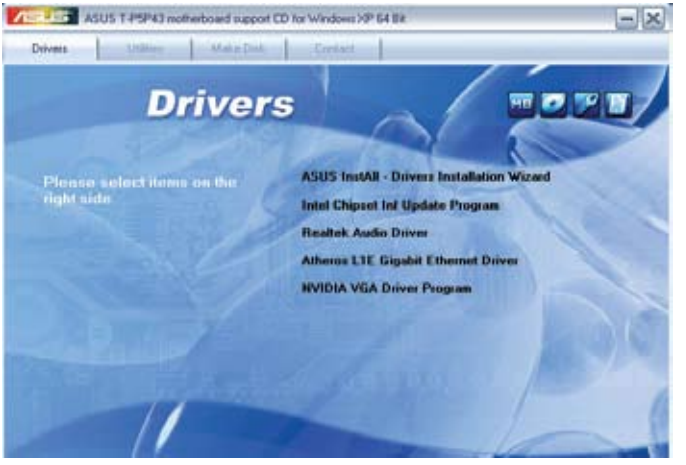
3.3.1 サポートCDを実行する

サポートCDを光学ドライブに入れます。コンピュータでAutorun 機能が有効になっていれば、ドライバメニューが自動的に表示されます。

Autorun が有効になっていない場合は、サポートCD の BINフォルダから ASSETUP.EXE を探してください。ASSETUP.EXE をダブルクリックすれば、ドライバメニューが表示されます。

3.3.2 ドライバメニュー

ドライバメニューには、インストールが可能なドライバが表示されます。必要なドライバを上から順番にインストールしてご利用ください。



ASUS InstAll - Drivers Installation Wizard

ASUS InstAll で各ドライバをインストールします。

Intel(R) Chipset INF Update Program

Intel® Chipset INF Update Program をインストールします。

Realtek Audio Driver

the Realtek Audio Driver をインストールします。

Atheros L1E Gigabit Ethernet Driver

Atheros L1E Gigabit Ethernet Driver をインストールします。

NVIDIA VGA Driver Program

NVIDIA VGA Driver をインストールします。

ITECIR Vista Driver

ITECIR Vista Driver をインストールします。

ITECIR Vista Driver の項目は、**IR feature***機能搭載の特定のモデルのみで表示されます。(*オプション)

3.3.3 ユーティリティメニュー

マザーボードで使用できるアプリケーションやユーティリティをインストールします。

ASUS InstAll - Installation Wizard for Utilities

バンドルのユーティリティを全てインストールします。

Adobe Acrobat Reader 8

PDF (Portable Document Format) ファイルの閲覧、プリントができるAdobe® Acrobat® Reader V8.0 をインストールします。

ASUS Update

BIOS とドライバの アップデートが行えます。このユーティリティを使用するにはインターネット接続が必要です。(詳細:ページ 5-8 参照)

ASUS AI Manager

ASUS AI Manager をインストールします。

ASUS Express Gate Installer

ASUS Express Gate をインストールします。

Adobe Screen Saver

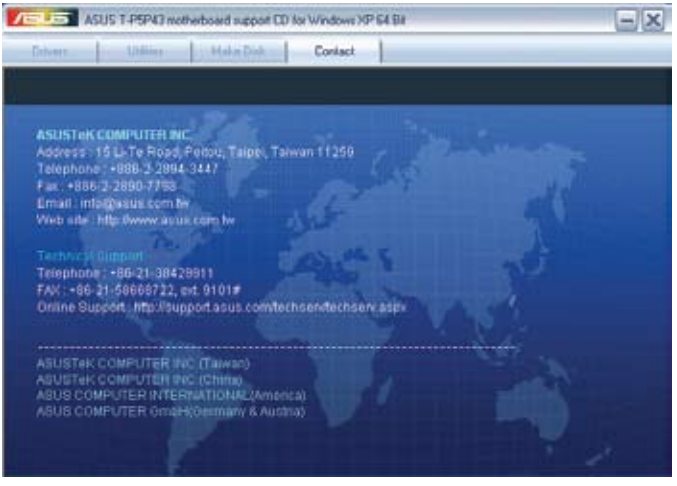
ASUS Screen Saver をインストールします。

3.3.4 Make Disk メニュー

Intel ICH10 AHCI ドライバディスクを作成します。

3.3.5 ASUSコンタクトインフォメーション

ASUS コンタクトインフォメーションが表示されます。



3.4 ソフトウェア情報

サポートCDに収録の殆どのアプリケーションにはウィザードが用意されており、簡単にインストールすることができます。詳細はソフトウェアのオンラインヘルプまたは readme ファイルをご参照ください。

ASUS Express Gate

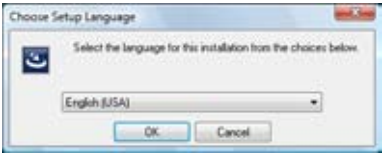
ASUS Express Gate はASUS独自の機能で、ブラウザや Skype 等のアプリケーションに瞬時にアクセスできる機能です。コンピュータの電源を入れてからわずか数秒で、Express Gate メニューが開き、ブラウザや Skype 等の Express Gate アプリケーションを起動することができます。

ASUS Express Gate をインストールする

- ASUS Express Gate がサポートするのは、**IDEモード**のSATA HDDだけです。
- ASUS Express Gate がサポートするHDDは、**マザーボードのチップセットが制御するオンボードSATAポート**に接続したHDDのみです。オンボード拡張SATAポートと外部SATAポートは全てサポート対象外です。オンボードSATAポートの位置はChapter 2 をご参照ください。
- ASUS Express Gate はUSB HDDとフラッシュメモリにインストールできますが、SATA HDDにインストールした場合と比べソフトウェアのパフォーマンスは低くなります。

Express Gate をコンピュータにインストールする

1. サポートDVDを光学ドライブに入れます。コンピュータでオートラン機能が有効になっていれば、「**Drivers**」インストールタブが表示されます。
2. 「**Utilities**」タブをクリックし、続いて「**ASUS Express Gate Installer**」をクリックします。
3. インストール用の言語を選択し、「**OK**」をクリックします。



4. Express Gate 用のInstallShield Wizard が表示されますので、「**Next**」をクリックします。

5. Express Gate をインストールするターゲットディスクのボリュームを選択します。ハードドライブに複数のボリュームが存在し、OSがインストールされている場合は、Express Gate を「**Volume C**」にインストールすることをお勧めします。続いて「**Next**」をクリックします。
6. 表示される画面の指示に従って、インストールを完了します。

トップ画面

電源をオンにすると、数秒後に Express Gate のトップ画面が表示され、ブラウザまたは Skype を起動することができます。

また、この機能を使用せずに OS の起動や、BIOS Setup、電源オフを選択することもできます。

選択しないまま一定の時間が経過すると、Express Gate は自動的に終了し OS を起動します。カウントダウンタイマーは「**boot to OS**」ボタン内に表示されます。マウスやキー操作をすると、カウントダウンは止まりタイマー表示が消えます。

Express Gate 環境

Web または Skype を起動して Express Gate 環境に初めて入ると、基本設定用のウィザードが起動します。この基本設定には言語や日付、画面の解像度などが含まれます。

Express Gate 環境に入ったら、画面下の LaunchBar のアイコンをクリックし、ソフトウェアの起動と切り替えを行います。ウィンドウはサイズ変更と移動が可能です。ウィンドウを画面の前面に移動するには、ウィンドウをクリックするか、関連ソフトウェアのアイコンをクリックします。ウィンドウのサイズ変更は、コーナーをドラッグして調節します。ウィンドウを移動するには、タイトルバーをドラッグします。

LaunchBar 以外にも、<Alt + Tab> キーでソフトウェアの切り替えが可能です。また、デスクトップ上を右クリックするとソフトウェアメニューを表示させることができます。

LaunchBar 内のソフトウェアアイコンの赤い三角は、ソフトウェアが既に起動していることを示し、即座にそのソフトウェアに切り替えることがきます。なお、万一ソフトウェアが応答しない場合は、アイコンを右クリックして強制終了してください。

Express Gate のホットキー

操作に便利なホットキーを是非ご使用ください。

トップ画面

キー	機能
PAUSE/BREAK	電源オフ
ESC	OSを起動
DEL	BIOS Setup を起動
F8	起動デバイスの選択ウインドウをポップアップ

Express Gate 環境

キー	機能
<Alt> + <Tab>	ソフトウェアの切り替え
<Ctrl> + <Alt> + <Del>	Power-Off ダイアログボックスを表示
<Ctrl> + <Alt> + <Print Screen>	スクリーンキャプチャを画像に保存

Configuration Panel（設定パネル）を使用する

この画面では各種設定ができます。

アイコンをクリックして、ツールを開きます。ツールは以下の４種類です。

- **Date and Time：** タイムゾーンを含む時間設定を行います。
- **Input Method：** 入力言語と入力方式の設定を行います。
- **Language and Keyboard：**言語とキーボードの設定を行います。
- **LaunchBar Settings：**LaunchBar のカスタマイズ設定を行います（ドックする位置や、非表示設定など）。
- **Network：** インターネットへの接続方法を設定します。使用するネットワークポートを有効にします。LAN1 はコンピュータ上の２つの RJ-45 ネットワークポートを指します。各ポートで使用する IP の種類を DHCP IP（一般的）または静的 IP から選択することができます。PPPoE と無線（オプション）には、ユーザーネーム、パスワード、SSID などのログイン情報を設定してください。
- **Environment Settings：**この機能はExpress Gate の設定およびブラウザ上に保存した個人データ（ブックマーク、クッキー、履歴など）削除します。削除すると、ユーザーデータは初期設定値に戻ります。

  設定を削除する場合は、「**Restore System**」をクリックします。クリックすると確認メッセージが表示されますので、「**Yes**」をクリックします。続いてシステムは再起動され、Express Gate が再び起動します。なお、万一設定データが破損した場合、この機能を使用して設定を初期設定値に戻すこともできます。

設定を削除した後、初めてExpress Gate 環境に入ると設定ウィザードが起動します。

- **Screen Settings：**最適な画面解像度を選択します。
- **Volume Control：**スピーカー出力やマイク入力などの音量を調節します。

LaunchBar を使用する

LaunchBar には複数のシステムアイコンがあり、各種システム状態の表示と個人設定を行うことができます。なお、ソフトウェア使用中に画面スペースを確保するため、LaunchBar を自動非表示にすることも可能です。また、ドックの表示位置を設定することもできます。

Web ブラウザを起動します。

オンラインゲームのWeb ページを開きます。

画像編集ソフトウェア「**Photo Manager**」を起動します。

インスタントメッセージツール「**Chat**」を起動します。

「**Skype**」を起動します。このソフトウェアは、他のSkype ユーザーに無料で通話ができ、また、高品質な音声コミュニケーションを提供するツールです。

Configuration Panelを開きます。ここではネットワーク設定等の変更ができます。

上記のアプリケーションから応答がなくなった場合は、そのアプリケーションのアイコンを右クリックし、「**Close**」を選択して強制終了してください。

LaunchBar 右側に表示される小さなアイコンについて：

USBデバイスにアクセスしファイル管理を行うには、このアイコンをクリックして**File Manager** ウインドウを開きます。デバイスが検出されると、アイコンの中に緑の矢印が表示されます。

ASUS Express Gate がサポートするファイルの移動は、SATA HDD、光学ドライブ、USBドライブからのアップロードと、USBドライブへのダウンロードだけです。

ネットワークの状態が表示されます。ネットワークの設定も可能です。

ミュートの状態を示します。音量を変更するにはこのアイコンをクリックしてください。

入力言語と入力方式、キーボードのショートカットキーを選択します。（初期設定値は< Ctrl + Space >キー）

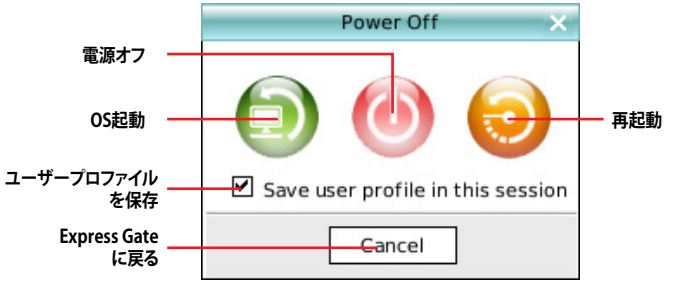
クリックして LaunchBar オプションを変更 します。
（自動非表示、ドックする位置など）

「ASUS Utility」パネルを開きます。

「About Express Gate 」を表示します。

Help を表示 します。

OS 起動、再起動、シャットダウンするための電源オプションを表示します。
このオプションは <Ctrl + Alt + Del> キーを押しても表示されます。

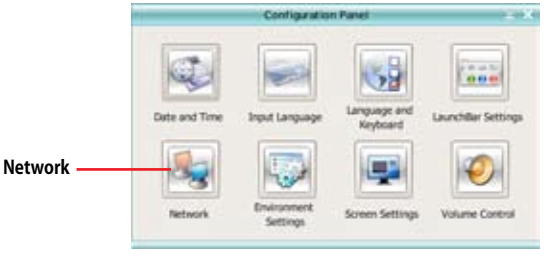


インターネットに接続する

インターネットに接続できない場合は以下の点を確認します。

1. 「Configuration Panel」を開きます。

2. 「Network」を開きます。



3. ネットワーク設定を行います。
ダイアログボックスでネットワーク設定を行います。ネットワークインターフェースを選択すると、そのインターフェースは即座に有効になります。

- ホームルータにネットワークケーブルを接続する場合は（このケーブルはDSL/ケーブルモデムにも接続）、LAN1を有効にします。
- 最も一般的なのは、コンピュータに自動的にネットワーク設定（例：DHCP）を取得させる方法です。この場合、「**Setup**」をクリックして LANの設定を行う必要はありません。自動取得させない場合は、「**Setup**」をクリックして静的 IP 設定を手動で行います。
- ルータを経由せずにネットワークケーブルを直接 DSL/ケーブルモデムに接続する場合は、「**Setup**」をクリックし「**xDSL/cable dial-up**」の設定を行います。この方式は PPPoE とも呼ばれます。DSL/ケーブルモデムをコンピュータの LANポートに接続するかを選択します。続いて、ダイヤルアップアカウント用のユーザーネームとパスワードを入力します。

  「**OK**」をクリックし、「**xDSL/cable dial-up**」を有効にし、PPPoE 接続を行います。PPPoE が有効になると、使用するポートは自動的にチェックが外され、選択できなくなります。

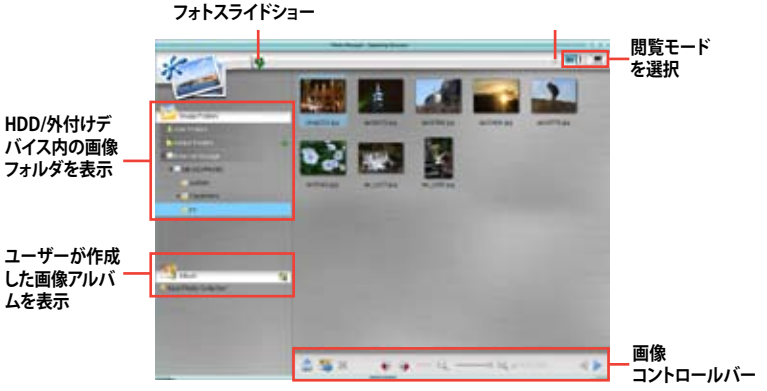
オンラインゲームを楽しむ

Express Gate ではポータルサイトとして「**Splashtop Gaming**」を紹介しています。このサイトでは、各カテゴリから多種多様なオンラインゲームが取り上げられており、その内容は日々アップデートされています。Express Gate で最新のオンラインゲームを是非体感してください。

オンラインゲームを楽しむには、ネットワーク接続を有効にする必要があります。

Photo Manager

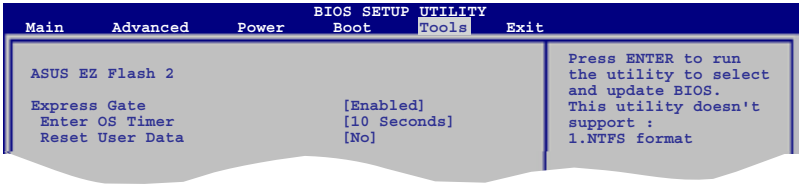
Photo Manager は画像閲覧用のアプリケーションで、ハードディスクまたは外付けストレージデバイス（USBドングル、カードリーダー、光学ディスク）内の画像ファイルの閲覧とアルバム編集ができます。ズームや回転、BGM付きスライドショーの作成、サムネイル表示、詳細リスト、全画面表示など、機能満載です。なお、サポートしているファイル形式はJPEG、GIF、BMP、PNGです。詳細はオンラインヘルプをご参照ください。



ASUS Express Gate がサポートするHDDは、**マザーボードのチップセットが制御するオンボードSATAポート**に接続したHDDのみです。オンボード拡張SATAポートと外部SATAポートは全てサポート対象外です。

Express Gate を BIOS Setup で設定する

電源をオンにした後 <DEL> キーを押す、または Express Gate トップ画面の BIOS Setup アイコンをクリックして BIOS セットアップを開きます。ツールメニューを開くと Express Gate 設定が表示されます。(詳細：**5.7.2 Express Gate** 参照)

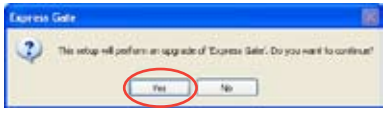


Express Gate をアップデートする

Express Gate はバージョン更新が可能です。新しいバージョンはASUSのWeb サイトで定期的にリリースされ、修正や新しいアプリケーションが追加されます。なお、オリジナルバージョンはサポートDVDに収録されています。

手順

1. サポートDVDに収録のExpress Gate セットアップファイル(実行ファイル)をダブルクリックし、ソフトウェアの更新を始めます。



2. アップデートを確認するダイアログが表示されますので、「**Yes**」をクリックします。
3. 続いてInstallShield Wizard が表示されますので、「**Next**」をクリックします。
4. 表示される画面の指示に従って、インストールを完了します。

Express Gate を修復する

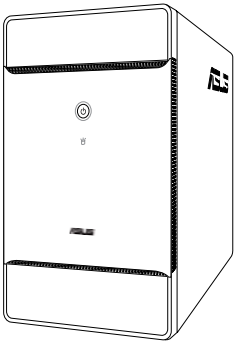
万一、Express Gate が正常に起動しなくなった場合、Express Gate を再インストールする、または修復用のユーティリティを使用することで、正常な状態に修復することができます。

手順

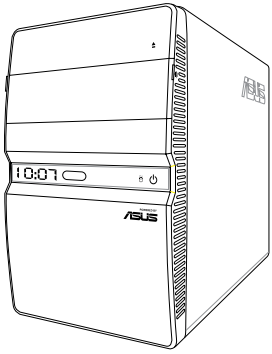
- 「**Start(スタート)**」→「**All Programs(すべてのプログラム)**」→「**Express Gate**」→「**Express Gate Installer**」→「**Repair this software**」の順にクリックします。
- または、Express Gate セットアップファイルをダブルクリックし、「**Repair**」を選択後、「**Next**」をクリックします。

Chapter 4

付属のマザーボードについての情報と、
マザーボードのレイアウト、ジャンパ設
定、コネクタの位置などの説明



T3-P5P43



T4-P5P43*

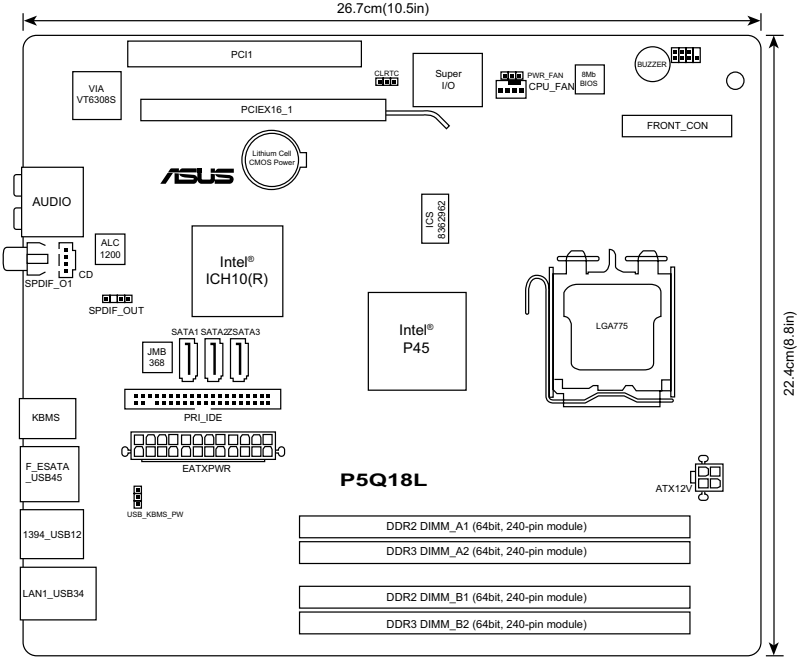
* 時刻LEDとIR LEDを搭載するのは、T4シリーズの特定モデルのみです。

マザーボード情報

4.1 マザーボードの概要

ASUS T-P5P43 システムには マザーボードが実装されています。ここでは、技術的な情報やシステム構成について説明します。

4.2 マザーボードのレイアウト



4.3 ジャンパ

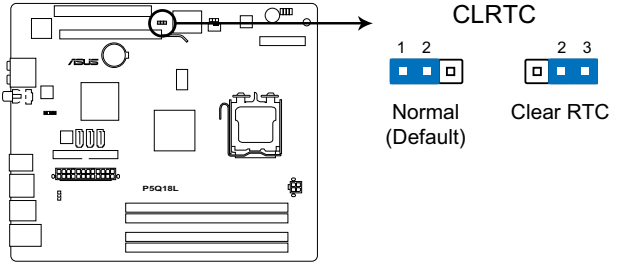
1. RTC RAMのクリア（CLRTC）

このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック（RTC）RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン電池により行われています。

RTC RAMをクリアする手順

1. コンピュータの電源をオフにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. マザーボード上のボタン電池を取り外します。
3. ジャンパキャップをピン 1-2（初期設定）からピン 2-3 に移動させます。5～10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
4. 電池を取り付けます。
5. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をオンにします。
6. 起動プロセスの間<Del>キーを押し、BIOS設定に入ったらデータを再入力します。

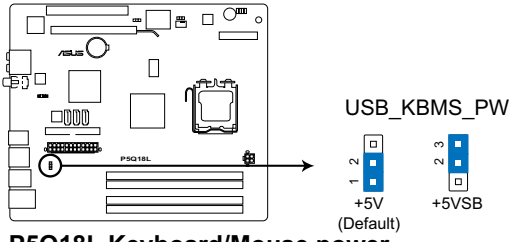
RTC RAM をクリアしている場合を除き、CLRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



P5Q18L Clear RTC RAM

2. キーボード/マウス電源ジャンパ（3ピン USB_KBMS_PW）

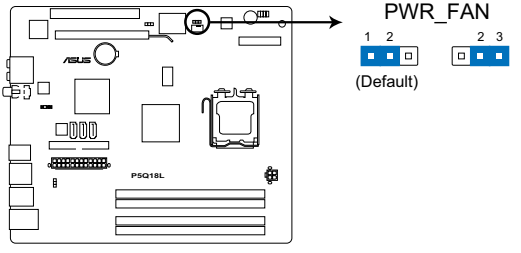
このジャンパはキーボード/マウスのウェークアップ機能とWake-On-LAN機能の有効/無効を切り替えます。キーボードのキーを押してコンピュータをウェイクアップさせる（初期設定はスペースバー）、またはマウスをクリックしてウェイクアップさせる場合は、このジャンパをピン 2-3（+5VSB）にします。また、LANを通じて他のコンピュータからウェイクアップさせることもできます。この機能には+5VSBリード線に最低 1A 供給可能な ATX 電源と、関連するBIOS設定が必要です。



P5Q18L Keyboard/Mouse power

3. ファン電源ジャンパ（3ピン PWR_FAN）

４ピンCPUファンを使用する場合は、このジャンパをピン 1-2（初期設定値）に、３ピンCPUファンを使用する場合は、このジャンパをピン 2-3 にセットしてください。



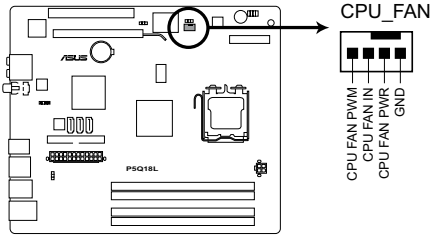
P5Q18L FAN device wake-up

4.4 コネクタ

ここではマザーボード上の各コネクタについて説明します。

1. CPU ファンコネクタ (4ピン CPU_FAN)

ファンコネクタは、専用のCPUファンをサポートしています。ファンケーブルをマザーボード上のファンコネクタに接続します。ケーブルの黒いワイヤがマザーボードのコネクタのアースピンに合うよう接続してください。

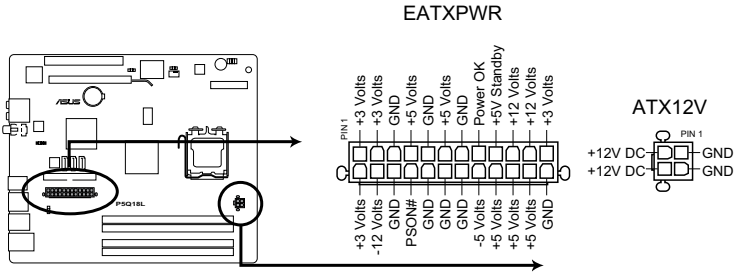


P5Q18L CPU fan connector

ケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが破損する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン（吸/排気ファン）を必ず搭載してください。また、吸/排気ファンの電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクタにジャンパキャップを取り付けないでください。

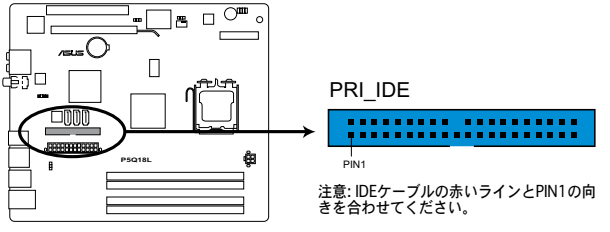
2. ATX電源コネクタ（24ピン EATXPWR、4ピン ATX12V）
電源装置の24ピン電源プラグと 4ピン電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。

4 ピン ATX12V電源プラグをマザーボードの ATX12Vコネクタに必ず接続してください。接続しないとシステムが起動しません。



P5Q18L ATX power connectors

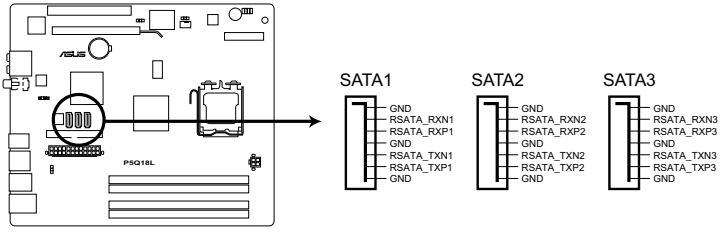
3. IDEコネクタ（40-1ピンPRI_IDE）
IDE100/66信号ケーブル用で、ブルーのコネクタはマザーボードのプライマリIDEコネクタ用です。



P5Q18L IDE connector

- 誤ってケーブルを接続しないようにコネクタのピン20は取り外されています。
- Ultra DMA 100/66 IDE デバイスの場合は、80ピンタイプのIDEケーブルを使用します。

4. Serial ATAコネクタ（7ピン SATA1、SATA2、SATA3）
これらコネクタはSerial ATAケーブル用で、Serial ATAハードディスクドライブに使用します。



P5Q18L SATA connectors (ICH10®)

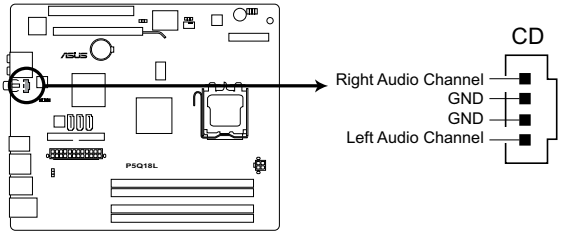
これらコネクタをStandard IDEモードで使用する場合は、プライマリ（ブート用）ハードディスクドライブをSATA1/3 コネクタに接続します。推奨するSATAハードディスクドライブ構成については、下の表をご参照ください。

Serial ATAハードディスクドライブ接続

コネクタ	カラー	設定	用途
SATA1/3	レッド	マスター	起動ディスク
SATA2	ブラック	スレイブ	データディスク

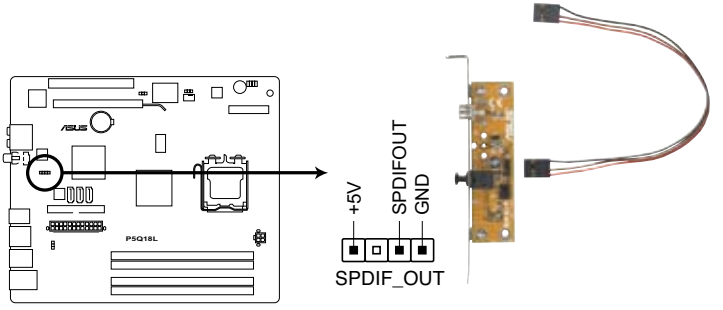
SATAケーブルの直角部分をSATAデバイスに接続します。あるいは、オンボードSATAポートに接続してビデオカードとの衝突を避けることもできます。

5. 光学ドライブオーディオコネクタ (4ピン CD)
CD-ROM、TVチューナー、MPEGカード等のサウンドソースからステレオオーディオ入力を受信します。



P5Q18L Internal audio connector

6. デジタルオーディオコネクタ (4ピン SPDIF_OUT)
このコネクタは追加のS/PDIFポート用で、S/PDIF出力ケーブルをこのコネクタに接続します。

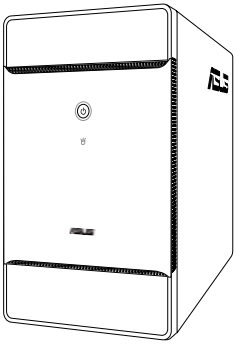


P5Q18L Digital audio connector

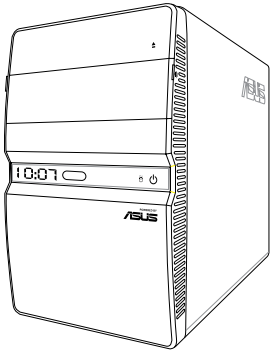
S/PDIF出力モジュールは別売りとなっております。

Chapter 5

BIOSセットアップメニューでのシステム設定、変更方法、BIOSパラメータの説明。



T3-P5P43



T4-P5P43*

* 時刻LEDとIR LEDを搭載するのは、T4シリーズの特定モデルのみです。

BIOSセットアップ

5.1 BIOS 管理更新

次のユーティリティを使って、マザーボードのベーシックインプット/アウトプットシステム（BIOS）の管理更新を行います。

1. **ASUS EZ Flash 2：**（POST中にフロッピーディスク、USBフラッシュメモリ、マザーボードサポートCDを使用してBIOSを更新）
2. **ASUS AFUDOS：**（ブートフロッピーディスクを使用してDOSモードでBIOSを更新）
3. **ASUS CrashFree BIOS 3：**（BIOSがダメージを受けた場合、ブートフロッピーディスク/USBフラッシュメモリ/サポートCDを使用してBIOSを更新）
4. **ASUS Update：**（Windows® 環境でBIOSを更新）

- BIOS を復旧できるように、オリジナルのマザーボード BIOS ファイルをブートフロッピーディスクにコピーしてください。 BIOS のコピーにはASUS Update または AFUDOS を使用します。
- 本マニュアルでの表記「フロッピーデバイス」は、USBフロッピーデバイスを指します。

5.1.1 ブートフロッピーディスクを作成する

1. 次のいずれかの方法で、ブートフロッピーディスクを作成します。

   DOS 環境

   a. ドライブに1.44MBのフロッピーディスクを挿入します。
   b. DOSプロンプトで、**format A:/S** を入力し、<Enter>を押します。

   Windows® XP 環境

   a. 1.44 MBのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。
   b. Windows® のデスクトップからスタートをクリックし、マイコンピュータを選択します。
   c. 3.5 インチフロッピーディスクドライブアイコンを選択します。
   d. マウスを右クリックし、コンテクストメニューからフォーマットを選択します。3.5 インチフロッピーディスクのフォーマットウィンドウが表示されます。
   e. Windows® XPユーザー：フォーマットオプションから、「MS-DOSの起動ディスクを作成する」を選択し、「開始」をクリックします。

   Windows® Vista 環境

   a. フォーマット済みの HD 1.44 MB フロッピーディスクをドライブに挿入します。
   b. デスクトップから アイコンをクリックし、「**コンピュータ**」を選択します。
   c. **フロッピーディスクドライブ** を右クリックし、「**フォーマット**」をクリックして「**フォーマット - 3.5 インチFD** 」のダイアログボックスを表示します。
   d. 「**MS-DOS の起動ディスクを作成する**」のチェックボックスを選択します。
   e. 「**開始**」をクリックします。

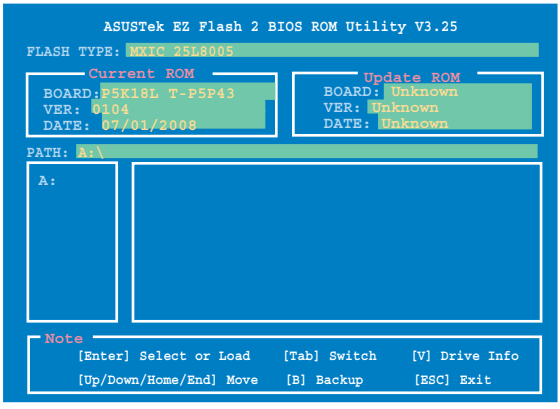
2. オリジナルまたは最新のマザーボードのBIOSファイルをブートフロッピーディスクにコピーします。

5.1.2 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2 はブートフロッピーディスクや DOS ベースのユーティリティを使うことなく、BIOS を短時間で更新します。このユーティリティは内蔵の BIOS チップですので、システム起動時の自己診断テスト(POST)中に、<Alt> + <F2>を押すことで起動することができます。

EZ Flash 2 を使用して BIOS を更新する手順

1. ASUS Webサイト(www.asus.co.jp)にアクセスして、マザーボード用の最新の BIOS ファイルをダウンロードします。
2. BIOS ファイルをフロッピーディスクまたは USB フラッシュディスクに保存し、システムを再起動します。
3. EZ Flash 2 を 起動する方法には以下の2つがあります。
   (1) BIOS ファイルを保存したフロッピーディスク / USB フラッシュディスクをフロッピーディスクドライブまたは USB ポートに挿入します。
   POST 中に <Alt> + <F2> を押すと下の画面が表示されます。



   (2) BIOS セットアッププログラムで、Tools メニューに進み EZ Flash2 を選択して <Enter> を押します。
   <Tab> を使ってドライブを変更し<Enter> を押します。

4. BIOS ファイルが検出されると EZ Flash 2 が自動的に BIOS をアップデートし、システムが再起動されます。

- **FAT 32/16** フォーマットのUSBフラッシュディスク、フロッピーディスク等のデバイスのみをサポートします。
- BIOS を更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。

5.1.3 AFUDOS

AFUDOS ユーティリティは、BIOS ファイルを保存したブートフロッピーディスクを使用して、DOS 環境で BIOS ファイルを更新します。また、このユーティリティで現在の BIOS ファイルをバックアップ用に保存しておくこともできます。

現在のBIOSをコピーする

AFUDOS ユーティリティを使用して現在の BIOS ファイルをコピーします。

- フロッピーディスクは書き込み可能なもので、ファイルを保存するために少なくとも 1024KB の空き容量が必要です。
- 説明で使用しているBIOS の画面は一例です。実際の BIOS 画面とは、異なる場合があります。

1. マザーボードサポートCD内に収録されたAFUDOSユーティリティ（afudos.exe）をブートフロッピーディスクにコピーします。
2. ブートフロッピーディスクからシステムを起動し、プロンプトで以下のように入力します。

   afudos /o[filename]

   [filename]は自由に決めることができます。入力可能な名前は、8文字以下の英数字のファイル名と3文字の英数字の拡張子です。

3. <Enter>を押します。マザーボードのBIOSファイルがフロッピーディスクにコピーされます。

```
A:\>afudos /oOLDBIOS1.rom
AMI Firmware Update Utility - Version 1.19(ASUS V2.26(06.08.28BB))
Copyright (C) 2003 American Megatrends, Inc. All rights reserved.
    Reading flash ..... done
    Write to file...... ok
A:\>
```

BIOS ファイルがコピーされると、DOS プロンプトに戻ります。

BIOSファイルを更新する

AFUDOSユーティリティを使用してBIOSファイルを更新する手順

1. ASUS Web サイト（www.asus.co.jp）にアクセスして、マザーボード用の最新の BIOS ファイルをダウンロードして、ブートフロッピーディスクに保存してください。

紙などにBIOSファイル名を書きとめてください。DOSプロンプトでBIOSファイル名を正確に入力する必要があります。

2. マザーボードサポートCD内に収録されたAFUDOS ユーティリティ（afudos.exe）をブートフロッピーディスクにコピーします。
3. ブートフロッピーディスクからシステムを起動し、プロンプトで以下のように入力します。

   afudos /i[filename]

   [filename] は、BIOS ファイル名です。

```
A:\>afudos /iT-P5P43.ROM
```

4. ファイルが確認されると、BIOS の更新が開始されます。

```
A:\>afudos /iT-P5P43.ROM
AMI Firmware Update Utility - Version 1.19(ASUS V2.26(06.08.28BB))
Copyright (C) 2003 American Megatrends, Inc. All rights reserved.

    WARNING!! Do not turn off power during flash BIOS
    Reading file ....... done
    Reading flash ...... done

    Advance Check ......
    Erasing flash ...... done
    Writing flash ...... 0x0008CC00 (9%)
```

BIOS の更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システムエラーの原因となります。

5. BIOS の更新プロセスが完了すると、DOS プロンプトに戻ります。HDDからシステムを再起動してください。

```
A:\>afudos /iT-P5P43.ROM
AMI Firmware Update Utility - Version 1.19(ASUS V2.26(06.08.28BB))
Copyright (C) 2003 American Megatrends, Inc. All rights reserved.

    WARNING!! Do not turn off power during flash BIOS
    Reading file ....... done
    Reading flash ...... done

    Advance Check ......
    Erasing flash ...... done
    Writing flash ...... done
    Verifying flash .... done

    Please restart your computer

A:\>
```

5.1.4 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 はBIOSの自動復旧ツールで、BIOS更新時に障害を起こした場合や破損したBIOSファイルを復旧します。破損したBIOSファイルはサポートCD、BIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリ/フロッピーディスクで更新することができます。

- このユーティリティを使用する前に、サポートCDまたはBIOSを保存したUSBフラッシュメモリ/フロッピーディスクをお手元にご用意ください。
- フロッピーディスクまたはUSBフラッシュメモリに保存した元のBIOSまたは更新したBIOSファイルの名前は、必ず「**T-P5P43.ROM**」に変更してください。

フロッピーディスクからBIOSを復旧する

手順

1. システムの電源をオンにします。
2. BIOS ファイルを保存したフロッピーディスクをフロッピードライブディスクに挿入します
3. 下のメッセージが表示されフロッピーディスク内の BIOS ファイルが自動的にチェックされます。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
```

BIOS が検出されると、BIOS ファイルを自動的に読み込み、破損した BIOS ファイルを更新します。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
Floppy found!
Reading file "T-P5P43.ROM". Completed.
Start flashing...
```

BIOS の更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システムエラーの原因となります。

4. 更新が終了したらシステムを再起動してください。

サポート DVD から BIOS を復旧する

手順

1. フロッピーディスクドライブにディスクが入っている場合は取り出し、システムの電源をオンにします。
2. サポートCDを光学ドライブに挿入します。
3. 下のメッセージが表示され、フロッピーディスクドライブ内のBIOSファイルがまずチェックされます。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
```

フロッピーディスクに何も入っていないことが確認されると、光学ドライブ内のBIOSファイルのチェックが始まり、BIOSファイルが検出されると、BIOSファイルを自動的に読み込み、破損したBIOSファイルを更新します。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
Floppy not found!
Checking for CD-ROM...
CD-ROM found!
Reading file "T-P5P43.ROM". Completed.
Start flashing...
```

4. 更新作業が完了したらシステムを再起動させてください。

復旧されたBIOSは最新バージョンではない場合もあります。最新バージョンはASUSのWebサイト（www.asus.co.jp）からダウンロードしてください。

USB フラッシュメモリからBIOS を復旧する

手順

1. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリを USB ポートにセットします。
2. システムをオンにします。
3. デバイスが検出されると自動的に BIOS ファイルを読み込み、BIOS の更新が開始されます。
4. 更新作業が完了したらシステムを再起動します。

- ASUS CrashFree BIOS 3 は FAT 32/16 フォーマットでシングルパーティションの USB フラッシュメモリのみをサポートします。デバイスサイズは 8GB 未満である必要があります。
- BIOS を更新している間に、システムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システムの起動エラーの原因となります。

5.1.5 ASUS Update

ASUS Update は、Windows® 環境でマザーボードの BIOSを管理、保存、更新するユーティリティです。以下の機能を実行することができます。

- マザーボードの BIOSファイルを保存する
- インターネットから最新の BIOS ファイルをダウンロードする
- 最新のBIOSファイルにBIOSを更新する
- インターネットから直接BIOSを更新する
- BIOSのバージョン情報を表示する

このユーティリティはマザーボードに付属しているサポートCD からインストールします。

ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。

ASUS Update をインストールする

手順

1. 光学ドライブにサポートCDをセットします。ドライバメニューが表示されます。
2. **Utilities** タブをクリックし、「**Install ASUS Update**」をクリックします。詳細はページ 3-5 をご参照ください。
3. ASUS Update ユーティリティがシステムにインストールされます。

このユーティリティを使用してBIOS を更新する場合は、すべての Windows® アプリケーションを終了してください。

インターネットを通してBIOSを更新する

手順

1. 「**スタートメニュー**」→「**プログラム**」→「**ASUS**」→「**ASUSUpdate**」→「**ASUSUpdate**」をクリックします。ASUS Update ユーティリティを起動すると、ASUS Update メインウィンドウが表示されます。

2. ドロップダウンメニューから、「**Update BIOS from the internet**」を選択し、「**Next**」をクリックします。

3. 最寄りの ASUS FTPサイトを選択するか、「**Auto Select**」をクリックし、「**Next**」をクリックします。

4. ダウンロードしたいBIOSバージョンを選択し、「**Next**」をクリックします。
5. 画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。

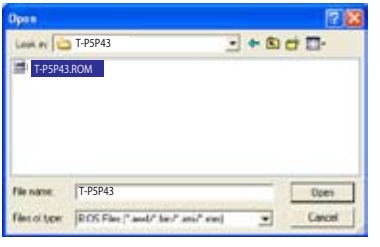
ASUS Updateユーティリティはインターネットから最新版に更新することができます。すべての機能を利用できるように、常に最新版をご使用ください。

BIOSファイルからBIOSを更新する

手順

1. 「**スタートメニュー**」→「**プログラム**」→「**ASUS** 」→「**ASUSUpdate**」→「**ASUSUpdate**」をクリックして、ASUS Updateユーティリティを起動すると、ASUS Updateメインウィンドウが表示されます。
2. ドロップダウンメニューから「**Update BIOS from a file**」を選択し、「**Next**」をクリックします。

3. OpenダイアログからBIOSファイルを探し、「**Open**」をクリックします。
4. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。



5.2 BIOS 設定プログラム

本マザーボードはプログラム可能なファームウェアチップを搭載しており、「**5.1 BIOS 管理更新**」で説明した付属ユーティリティを使用してBIOSの更新をすることが可能です。

BIOS 設定プログラムは、マザーボードを取り付けた時や、システムの再構成をした時、または"Run Setup"を促された時に使用します。本項では、この機能を使用してコンピュータの設定をする方法を説明します。

BIOS 設定プログラムを使用するように指示されていない場合でも、コンピュータの設定を変更することができます。例えば、セキュリティパスワード機能を有効にする、または、電源管理設定を変更することができます。これらの設定を変更するためには、コンピュータがこれらの変更を認識し、LPC チップのCMOS RAMに記録できるように、BIOS設定プログラムを使用してコンピュータの設定を変更する必要があります。

マザーボードファームウェアチップにはBIOS設定プログラムが搭載されています。BIOS 設定プログラムはコンピュータを起動するときに実行することができます。起動時の自己診断テスト (POST) の間に<Del>キーを押すとBIOS 設定プログラムが起動します。

POST の終了後にBIOS 設定プログラムを実行したい場合は、以下の手順のいずれかを行うことで システムを再起動します。

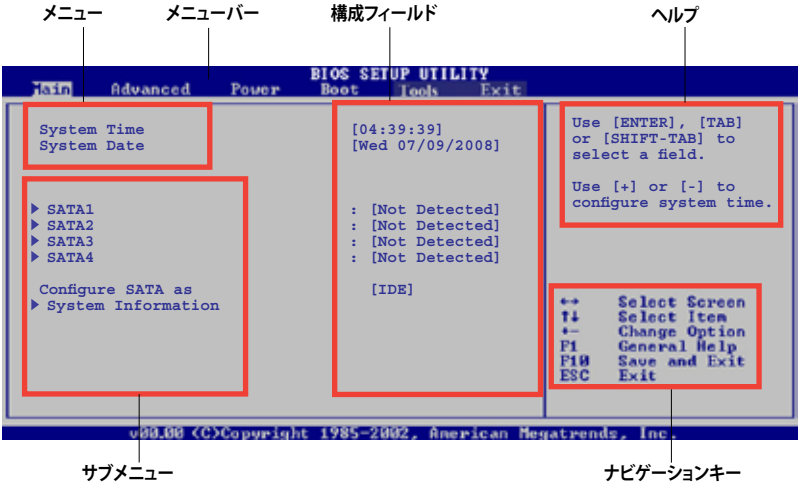
- OSのシャットダウン手順を利用した再起動
- <Ctrl+Alt+Delete>を押す
- ケースのリセットボタンを押す
- 電源ボタンを押してシステムをオフにし、それからまたオンにする

実行中のオペレーティングシステムからのリセットを強制する**電源ボタン、リセットボタン、**<Ctrl+Alt+Delete>キーの使用は、データ、システムに損傷を与える恐れがあります。常に、オペレーティングシステムから正しくシステムをシャットダウンすることをお勧めします。

BIOS 設定プログラムは簡単に使用できるように設計されています。メニュー画面から、ナビゲーションキーを使用してさまざまなサブメニューをスクロールする、使用可能なオプションから設定を選択することができます。

- このマザーボードの BIOSの初期設定値はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。BIOS 設定を変更した後システムが不安定になったら、初期設定値をロードしてください。初期設定値に戻すには、Exit メニューの下の「**Load Setup Default**s」を選択します。(詳細は「**5.8 終了メニュー**」をご参照ください)
- 本書に掲載した BIOS の画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。
- 最新の BIOS はASUS Web サイト(www.asus.co.jp)からダウンロードしてください。

5.2.1 BIOSメニュー画面



5.2.2 メニューバー

スクリーン上部のメニューバーには次の項目があり、主な設定内容は以下のとおりです。

Main	基本システム設定の変更
Advanced	拡張システム設定の変更
Power	拡張電源管理（APM/ACPI）設定の変更
Boot	システム起動設定の変更
Tools	独自機能の設定オプション
Exit	終了オプションと初期設定値のロード

メニューバーの項目を選択するには、キーボードの右または左の矢印キーを使って、項目をハイライト表示させます。

- 掲載したBIOSの画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。
- 最新バージョンのBIOSについては、ASUSのWebサイト（www.asus.co.jp）でご確認ください。

5.2.3 ナビゲーションキー

BIOSメニュー画面の右下には、メニューの操作をするためのナビゲーションキーの説明が表示されています。ナビゲーションキーを使用してメニューの項目を選択し、設定を変更します。

ネビゲーションキーの表示は画面によって異なる場合があります。

5.2.4 メニュー

メニューバーをハイライト表示すると、そのメニューの設定項目が表示されます。例えば、メインを選択するとメインのメニューが表示されます。

メニューバーの他の項目（Advanced、Power、Boot、Exit）には、それぞれのメニューがあります。

5.2.5 サブメニュー

サブメニューが含まれる項目の前には、黒い三角形が付いています。サブメニューを表示するためには、項目を選択し <Enter> を押します。

5.2.6 構成フィールド

構成フィールドには設定された値が表示されています。設定の変更が可能な項目は、フィールドの値を変更することができます。ユーザーによる変更が可能でない項目は、選択することができません。

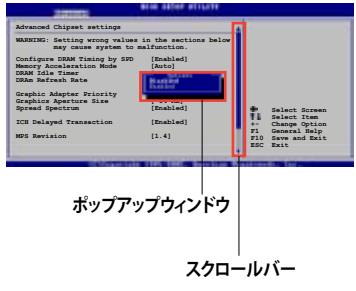
各値はカッコで囲まれており、選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、選択し <Enter> を押してオプションのリストを表示させます。詳細は「**5.2.7 ポップアップウィンドウ**」をご参照ください。

5.2.7 ポップアップウィンドウ

項目を選択し <Enter> を押すと、設定可能なオプションと共にポップアップウィンドウが表示されます。

5.2.8 スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されます。上/下矢印キー、または <Page Up>/<Page Down> キーで、スクロールすることができます。



5.2.9 ヘルプ

メニュー画面の右上には、選択した項目の簡単な説明が表示されます。

5.3 メインメニュー

BIOS 設定プログラムに入ると、メインメニューが表示され、システム情報の概要が表示されます。

メニュー画面の情報および操作方法については、「**5.2.1 BIOS メニュー画面**」をご参照ください。

5.3.1 System Time [xx:xx:xx]

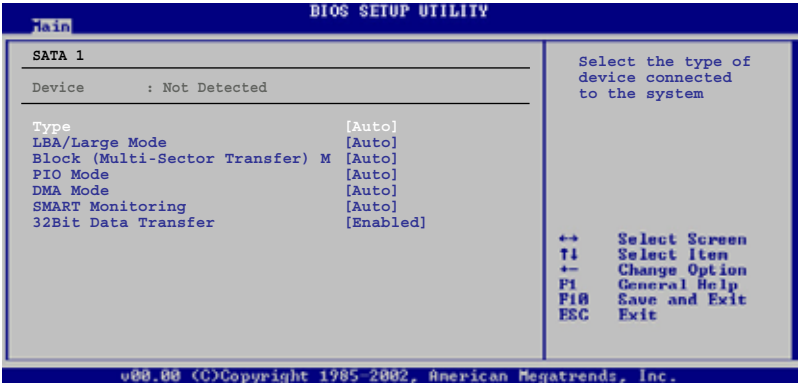
システム時間を設定します。

5.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システム日付を設定します。

5.3.3 SATA1, SATA2, SATA3, and SATA4

セットアップ中に BIOS は自動的にSATAデバイスを検出します。デバイスを選択し、<Enter>を押すと SATAデバイスの情報が表示されます。



BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART Monitoring の各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムに IDE デバイスが接続されていない場合は「N/A」と表示されます。

Type [Auto]

IDEデバイスのタイプを選択します。[Auto] に設定すると、適切な IDE デバイスタイプを自動的に選択します。光学ドライブを接続している場合は [CDROM] を選択します。デバイスがZIP、LS-120、MOドライブのどれかであれば、[ARMD] (ATAPI リムーバブルメディアデバイス) を選択します。
設定オプション: [Not Installed] [Auto] [CDROM] [ARMD]

LBA/Large Mode [Auto]

LBA モードを設定します。デバイスがこのモードをサポートしている場合、[Auto]に設定すると、LBA モードが有効になります。デバイスが LBA モードでフォーマットされていない場合は無効になります。
設定オプション: [Disabled] [Auto]

Block (Multi-Sector Transfer) M [Auto]

マルチセクタ転送を設定します。[Auto] に設定すると、デバイスがマルチセクタ転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクタで行います。[Disabled] に設定すると、デバイス間のデータ転送は1セクタごとに行います。
設定オプション: [Disabled] [Auto]

PIO Mode [Auto]

PIOモードを選択します。
設定オプション: [Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

DMA Mode [Auto]

DMA モードを設定します。
設定オプション: [Auto]

SMART Monitoring [Auto]

ハードディスクドライブのS.M.A.R.T. (Self Monitoring and Reporting Technology) 機能の有効/無効を設定します。サードパーティのハードウェアモニタユーティリティと併用することで、この機能はシステムにハードドライブの読み込み/書き込みエラーを報告/警告させることができます。
設定オプション: [Auto] [Disabled] [Enabled]

32Bit Data Transfer [Enabled]

32-bit データ転送を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

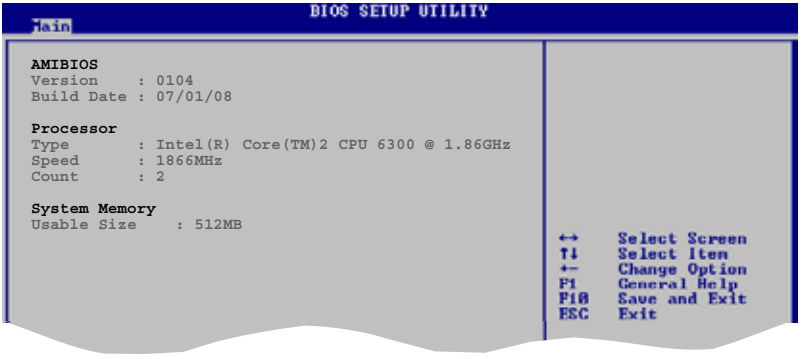
5.3.4 Configure SATA as [IDE]

サウスブリッジチップがサポートしている Serial ATA コネクタを設定します。
設定オプション: [IDE] [AHCI]

- Serial ATA ハードディスクドライブを Parallel ATA 物理記憶デバイスとして利用する場合は、初期設定値の [IDE] を変更する必要はありません。
- Serial ATA ハードディスクドライブでAHCI（Advanced Host ControllerInterface）を利用する場合はこの項目を [AHCI] に設定します。AHCIを有効にすると、オンボードストレージドライバによりSerial ATA に関連する詳細機能が有効になります。これにより、ランダムな負荷に対してドライブ内部でコマンドの順序を最適化できるようになるため、ストレージのパフォーマンスが向上します。.

5.3.5 システム情報

システム仕様の概要です。BIOS はさまざまな情報を自動的に検出します。



AMI BIOS

自動検出された BIOS 情報を表示します。

Processor

自動検出された CPU の仕様を表示します。

System Memory

自動検出されたシステムメモリの容量を表示します。

5.4 拡張メニュー

CPUとその他のシステムデバイスの設定を変更します。

拡張メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。

5.4.1 CPU の設定

BIOS が自動的に検出するCPU 関連の情報です。

CPU Ratio Setting [Auto]

CPUコアクロックとFSB周波数の倍率を設定します。
設定オプション: [Auto]

手動で調節する場合は、数値を直接入力してください。

C1E Support [Enabled]

システム休止時の省電力機能である CPU Enhanced Halt (C1E) 機能について、有効/無効を設定します。有効にすると、システムに負荷がかかっていない状態では、CPUのコア周波数と電圧が下がり、電力消費を低減します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Max CPUID Value Limit [Disabled]

拡張CPU ID機能の制限の有効/無効を設定します。Windows XP/Vista の場合 [Disabled] に設定します。Windows NT4.0 など、Legacy OSの場合は [Enabled] に設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

CPU TM Function [Enabled]

Intel® CPU Thermal Monitor (TM) 機能の設定を行います。オーバーヒートしたCPUのクロックを抑えることで冷却を図ります。有効にすると、CPUのオーバーヒート時に、CPUコア周波数と電圧を抑えシステムへのダメージを減らします。
設定オプション：[Disabled] [Enabled]

Execute Disable Bit [Enabled]

Intel® Execute Disable Bit Capability の有効/無効を設定します。この機能により、コンピュータの保護が強化されます。対応のソフトウェアとシステムを使用していれば、ウイルスや悪意あるバッファオーバーフロー攻撃によるリスクを低減できます。
設定オプション：[Disabled] [Enabled]

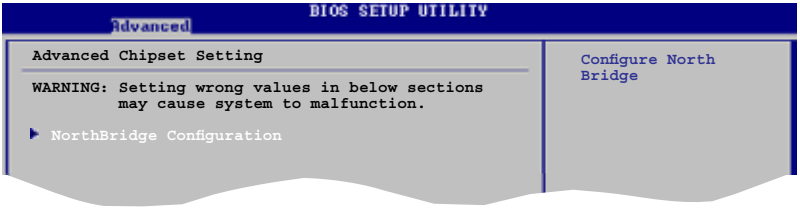
次の項目は、Enhanced Intel SpeedStep® Technology (EIST)をサポートする Intel® Pentium® 4 以降のCPUを取り付けると表示されます。

Intel (R) SpeedStep (tm) tech. [Enabled]

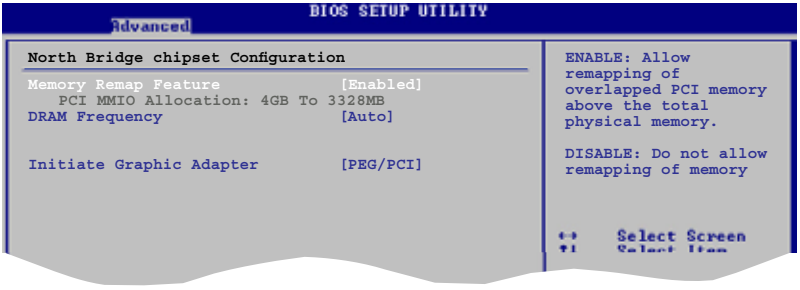
Enhanced Intel® SpeedStep™ Technology の有効/無効を設定します。[Enabled] に設定すると、OS上で電源設定を変更することで、EIST機能が働きます。EIST機能を利用しない場合は [Disabled] に設定してください。
設定オプション：[Enabled] [Disabled]

5.4.2 チップセット

チップセットの設定を変更します。項目を選択し、<Enter> を押すとサブメニューを表示させることができます。



North Bridge Configuration



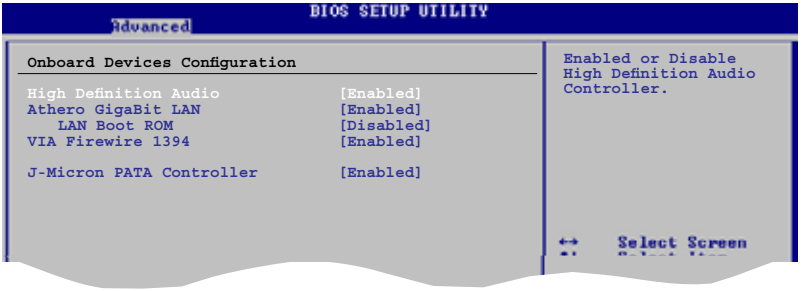
Memory Remap Feature [Enabled]
物理メモリ上の重複 PCI メモリのリマッピングを設定します。64bit OSをインストールしている場合のみ、[Enable]にしてください。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

DRAM Frequency [Auto]
メモリの動作周波数を設定します。
設定オプション: [Auto] [667 MHz] [800 MHz] [1066 MHz] [1333 MHz]

DRAM周波数を極度に高く設定すると、システムが不安定になることがあります。不安定になった場合は、初期設定値に戻してください。

Initiate Graphic Adapter [PEG/PCI]
プライマリブートデバイスとして使用するグラフィックスコントローラを選択します。
設定オプション: [PCI/PEG] [PEG/PCI]

5.4.3 オンボードデバイス設定構成



High Definition Audio [Enabled]

HDオーディオコントローラの設定を行います。次の項目はこの項目を有効にすると表示されます。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Atheros GigaBit LAN [Enabled]

オンボードAtheros Gigabit LANの有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

LAN Boot ROM [Disabled]
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

VIA Firewire 1394 [Enabled]

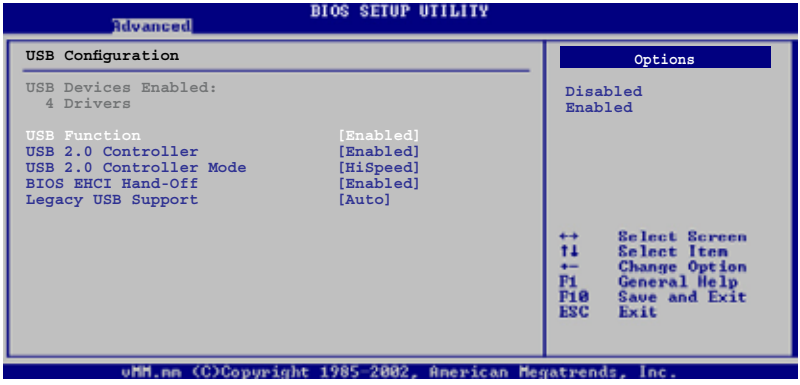
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

J-Micron PATA Controller [Enabled]

J-Micron PATA Controller の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

5.4.4 USB設定

USB関連機能の変更をすることができます。項目を選択し <Enter> を押して設定オプションを表示させてください。



「**USB Devices Enabled**」には自動検出された値が表示されます。USBデバイスが検出されない場合は「**None**」と表示されます。

USB Function [Enabled]

USB機能の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

USB 2.0 Controller [Enabled]

USB 2.0 コントローラの有効/無効を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

「**USB 2.0 Controller Mode**」は [USB 2.0 Controller] を有効にすると表示されます。

USB 2.0 Controller Mode [HiSpeed]

USB 2.0 コントローラのモードを設定します。 HiSpeed (480 Mbps) または FullSpeed (12 Mbps) から選択します。
設定オプション: [Full Speed] [HiSpeed]

BIOS EHCI Hand-Off [Enabled]

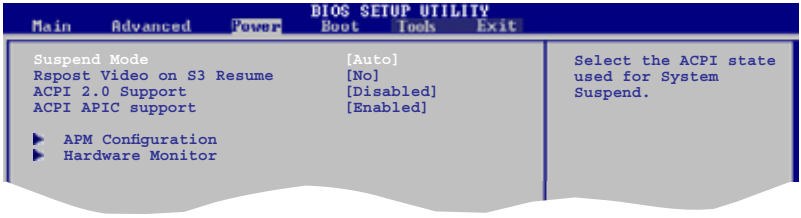
EHCI ハンドオフ機能の設定を行います。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Legacy USB Support [Auto]

レガシーUSB デバイスの設定。[Auto]に設定すると、起動時に USB デバイスを検出します。USB デバイスが検出されると、USBコントローラのレガシーモードが有効になり、検出されないとレガシー USB のサポートは無効になります。
設定オプション:[Disabled] [Enabled] [Auto]

5.5 電源メニュー

ACPI と APM 機能の設定の変更を行います。項目を選択し、<Enter>を押すと設定オプションが表示されます。



5.5.1 Suspend Mode [Auto]

システムのサスペンドに使用される、ACPI の状態を選択します。
設定オプション: [S1 (POS) Only] [S3 Only] [Auto]

[S1(POS) Only]
システムをACPI S1 (Power on Suspend)スリープ状態にします。S1スリープ状態では、システムはサスペンド状態になり、低電力モードで動作します。システムはいつでも復帰可能です。

[S3 Only]
システムをACPI S3 (Suspend to RAM)スリープ状態（初期設定）にします。S3スリープでは、システムはOFFの状態のようにみえ、S1の状態よりも低い電力モードで動作します。システムはウェイクアップデバイスやウェイクアップイベントにより、スリープ前の動作モードに復帰します。

[Auto]
OSが検出します。

5.5.2 Repost Video on S3 Resume [No]

S3/STRからの復帰時に、VGA BIOS POSTを実行するかを設定します。
設定オプション: [No] [Yes]

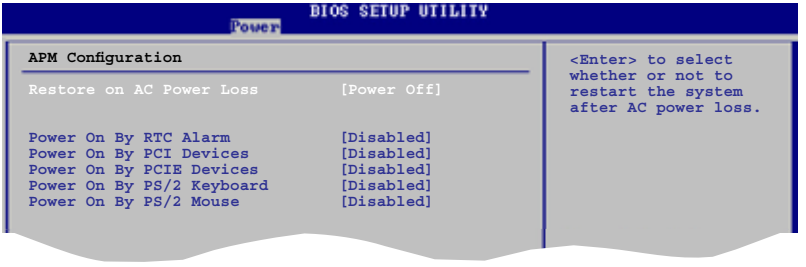
5.5.3 ACPI 2.0 Support [Disabled]

ACPI（Advanced Configuration and Power Interface）2.0 サポートを選択します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

5.5.4 ACPI APIC Support [Enabled]

APICが、ACPI をサポートするかどうかを設定します。[Enabled] に設定すると、ACPI 設定内のRSDTポインタリストにAPICテーブルのポインタが追加されます。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

5.5.5 APMの設定



Restore on AC Power Loss [Power Off]

[Power Off]に設定すると、停電などで電力が遮断された場合に再通電時に電源をオフにします。また、[Power On] に設定すると、再通電時に電源をオンにします。[Last State] に設定すると、再通電時に、直前の電源状態に戻ります。
設定オプション: [Power Off] [Power On] [Last State]

Power On By RTC Alarm [Disabled]

ウェイクアップイベントを作成する RTC を設定します。この項目を [Enabled] に設定すると、アラームの日時がユーザー設定可能になります。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Power On By PCI Devices [Disabled]

有効にすると、PCI LANまたはモデムカードからシステムをONにすることができます。この機能は、+5V SB リードで最低1A を供給する ATX 電源を必要とします。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Power On By PCIE Devices [Disabled]

有効にすると、PCI Express カードからシステムをONにすることができます。この機能は、+5V SB リードで最低1A を供給する ATX 電源を必要とします。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Power On By PS/2 Keyboard [Disabled]

有効にすると、キーボード上の特定キーからシステムをONにすることができます。この機能は、+5V SB リードで最低1A を供給する ATX 電源を必要とします。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Power On By PS/2 Mouse [Disabled]

有効にすると、PS/2 マウスからシステムをONにすることができます。この機能は、+5V SB リードで最低1A を供給する ATX 電源を必要とします。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

5.5.6 ハードウェアモニタ

CPU Temperature [xxxºC/xxxºF]

MB Temperature [xxxºC/xxxºF]

オンボードハードウェアモニタはマザーボードとCPU温度を自動的に検出して表示します。なお、[Ignored] にすると表示されなくなります。

CPU Fan Speed [xxxxRPM] or [Ignored]

CPUファンスピードを自動的に検出して回転数/分(RPM)の単位で表示します。マザーボードにファンが取り付けられていない場合、このフィールドには [N/A] と表示されます。なお、[Ignored] にすると表示されなくなります。

Smart Q-Fan Control [Enabled]

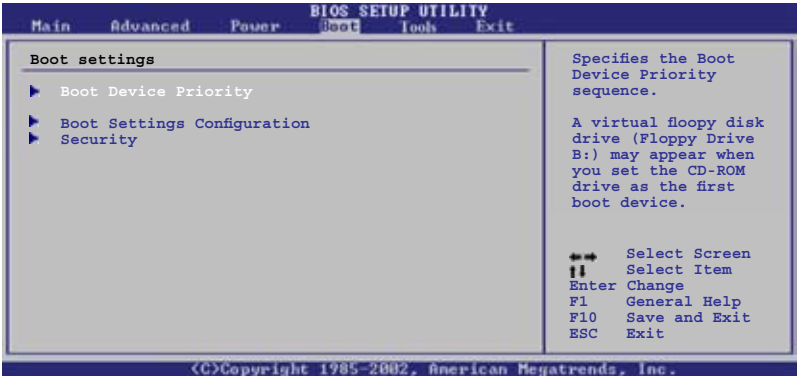
Smart Q-Fan Control 機能を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

VCORE Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage

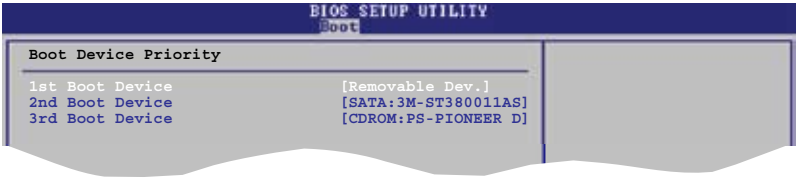
オンボードハードウェアモニタはオンボード電圧レギュレーターを通過する電圧出力を自動検出します。

5.6 ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。<Enter> を押してサブメニューを表示します。



5.6.1 ブートデバイスの優先順位

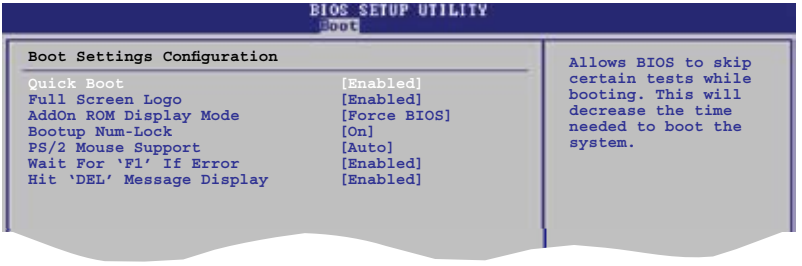


1st ~ xxth Boot Device [Removable Dev.]

ブートさせるデバイスの優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数です。

設定オプション: [Removable Dev.] [Hard Drive] [ATAPI CD-ROM] [Disabled]

5.6.2 起動設定



Quick Boot [Enabled]

起動中にいくつかの自己診断テスト(POST)をスキップして、システムの起動をスピードアップさせます。[Disabled] に設定しているときは、BIOS はすべての POST 項目を実行します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Full Screen Logo [Enabled]

フルスクリーンロゴの表示/非表示を切り替えます。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

ASUS MyLogo2™ 機能をご利用になる場合は「**Full Screen Logo**」の項目を [Enabled] に設定してください。

Add On ROM Display Mode [Force BIOS]

オプション ROM に対するディスプレイのモードを設定します。
設定オプション: [Force BIOS] [Keep Current]

Bootup Num-Lock [On]

電源をオンにしたときの、NumLock の状態を選択します。
設定オプション: [Off] [On]

PS/2 Mouse Support [Auto]

PS/2 マウスのサポートの有効/無効を切り替えます。
設定オプション: [Disabled] [Enabled] [Auto]

Wait for 'F1' If Error [Enabled]

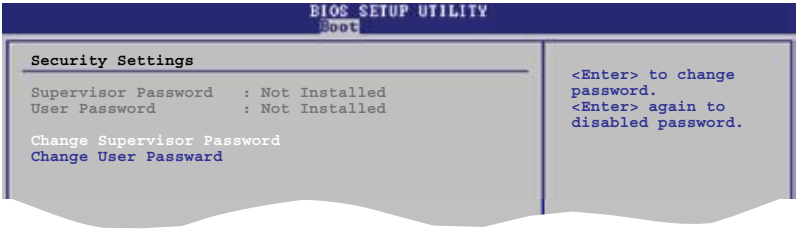
[Enabled] に設定するとシステムはエラー発生時に<F 1 > キーを押すまで待機します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Hit 'DEL' Message Display [Enabled]

[Enabled] に設定すると、POST 中に「Press DEL to run Setup (Delete キーでBIOSメニューを表示)」というメッセージが表示されます。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

5.6.3 セキュリティ

システムセキュリティ設定の変更。項目を選択し、<Enter> を押すと設定オプションが表示されます。



Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定または変更を行います。画面上部に表示されている「Supervisor Password」は、初期設定値は「Not Installed」になっています。パスワードを設定すると、「Installed」に変更されます。

管理者パスワードの設定手順

1. 「Change Supervisor Password」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「password box」で、6 文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

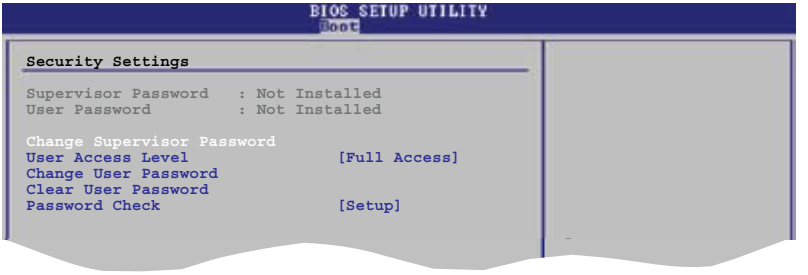
パスワードの設定が完了すると、「Password Installed」というメッセージが表示されます。

管理者パスワードを変更する場合は、設定と同じ手順に従います。

管理者パスワードの消去は、「Change Supervisor Password」を選択し、<Enter> を押します。消去すると「Password Uninstalled」というメッセージが表示されます。

管理者パスワードを忘れた場合、CMOS リアルタイムクロック(RTC) RAM を消去してパスワードをクリアすることができます。RTC RAM を消去する方法については、「**4.3 ジャンパ**」のページをご参照ください。

管理者パスワードを設定すると、他のセキュリティ設定を変更するための項目が表示されます。



User Access Level [Full Access]

BIOSメニューへのアクセス制限の選択。
設定オプション：[No Access] [View Only] [Limited] [Full Access]

[No Access]、BIOSメニューへのユーザーのアクセスを拒否します。

[**View Only**]、アクセスは許可しますが設定の変更はできません。

[**Limited**]、日時など、限られた設定のみを変更することができます。

[**Full Access**]、すべての項目を表示、変更することができます。

Change User Password

ユーザーパスワードの設定または変更をします。画面上部に表示されている「User Password」は初期設定値では「Not Installed」になっています。パスワードを設定すると、「Installed」に変更されます。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「Change User Password」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「password box」で、6 文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「Password Installed」というメッセージが表示されます。

ユーザーパスワードを変更する場合は、設定と同じ手順で行います。

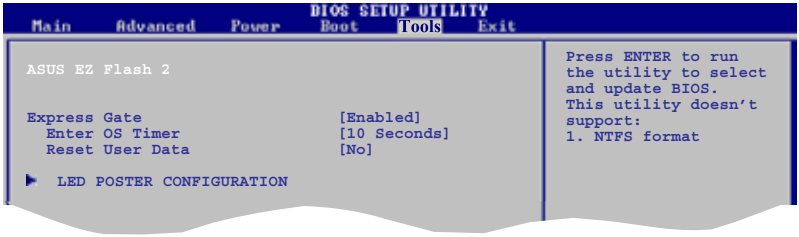
Clear User Password

ユーザーパスワードをクリアします。

Password Check [Setup]

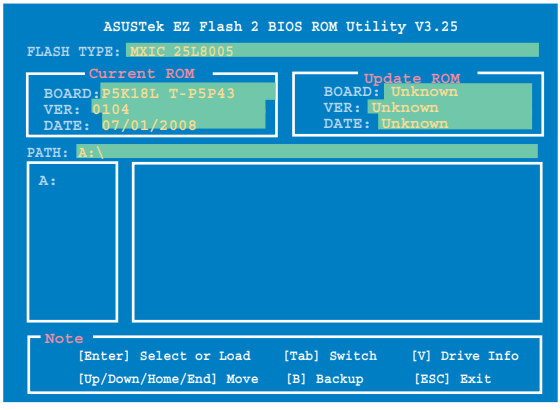
この項目を[Setup] に設定すると、BIOS はBIOSメニューへのアクセス時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。[Always] に設定すると、BIOS はBIOSメニューへのアクセス時と、システムの起動時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。
設定オプション：[Setup] [Always]

5.7 ツールメニュー



5.7.1 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2 を起動します。<Enter>を押すと確認メッセージが表示されます。左右矢印キーを使って [OK] または [Cancel] を選択し <Enter> を押して選択を決定します。



5.7.2 Express Gate

Express Gate 機能の有効/無効を切り替えます。ASUS Express Gate はOSを起動しなくてもインターネットブラウザやSkype を利用できる機能です。詳細はセクション「**3.4 ソフトウェア情報**」をご参照ください。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

次の各項目は「**Express Gate**」の項目を有効にすると表示されます。

Enter OS Timer [10 Seconds]
Express Gate のトップ画面での待機時間を設定します。この時間が経過すると、Windows OS（または他のOS）が起動します。なお、[Prompt User] を選択すると、ユーザーが操作するまでトップ画面が表示されたままになります。
設定オプション: [Prompt User] [1 second] [3 seconds] [5 seconds] [10 seconds] [15 seconds] [20 seconds] [30 seconds]

Reset User Data [No]
Express Gate のユーザーデータを消去します。
設定オプション: [No] [Reset]

[Reset] を選択すると、次にExpress Gate を開くときにユーザーデータが消去されますので、各設定データをBIOSに保存してください。消去されるデータにはExpress Gate の設定、ブラウザ上に保存した個人データ（ブックマーク、Cookie、履歴など）が含まれます。これは不正なデータ設定により、Express Gateを正常に起動できなくなる問題を防ぐのに有効な手段となります。

前回ユーザーデータを消去した場合は、Express Gate を起動すると初期ウィザードが表示されます。

5.7.3 LED Poster Configuration

次の各項目はLED Display 機能を搭載したモデルでのみ表示されます。

Turn On / Off LED Timer Display [Enabled]

LED Timer Display 機能の有効/無効を設定します。
設定オプション:

[Enabled]: 初期設定値です。LED Timer はシステムがONでもOFFでも表示されます。

[Disabled]: LED Timer はシステムがONでもOFFでも表示されません。

[Disable of Shutdown]: LED Timer はシステムがONのときに表示され、OFFのときは表示されません。

LED Poster Backlight [100%]

LED Poster のバックライトを設定します。
設定オプション: [25%] [50%] [75%] [100%]

5.8 終了メニュー

BIOS 設定の保存や取り消しのほか、初期設定値の読み込みを行います。

<Esc> を押してもこのメニューは終了しません。「Exit」メニューからいずれかの項目を選択するか、<F10> を押して終了します。

Exit & Save Changes

BIOSの設定が終了したら、「Exit」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAM に保存して終了します。オンボード用のバックアップで搭載されているバッテリは、コンピュータの電源がオフになっているときでもBIOSの設定内容を保存します。この項目を選択すると、確認ウィンドウが表示されます。「YES」を選択すると、変更を保存して終了します。

設定を保存せずに<ESC>でBIOSメニューを終了しようとすると、終了する前に変更を保存しますかと尋ねるメッセージが表示されます。その場合は<Enter> 押して変更を保存します。

Exit & Discard Changes

BIOSメニューで行った設定を保存したくないときに、この項目を選択します。ただし、システムの日付、システム時間、パスワード以外の設定を変更した場合は、終了する前に確認のメッセージが表示されます。

Discard Changes

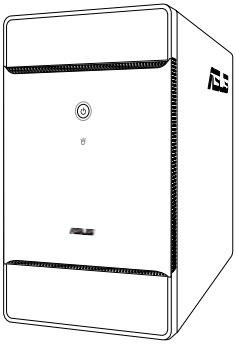
BIOSメニューで設定した変更を破棄し、以前保存したときの値を復旧します。このオプションを選択した後には、確認のメッセージが表示されます。確認のメッセージの表示で「YES」を選択すると変更を取り消し、以前保存したときの値がロードされます。

Load Setup Defaults

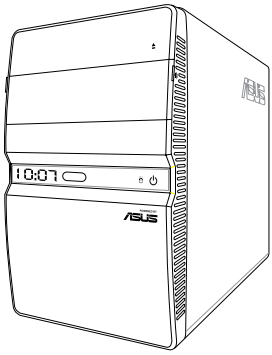
セットアップメニューのそれぞれの値に、初期設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5> を押すと確認画面が表示されます。「YES」を選択して初期設定値をロードします。Exit & Save Changes を選択するか、他の変更を行ってから設定を保存します。

参考

電源装置の仕様、リモコン、
Windows XPのインストールについての説明



T3-P5P43



T4-P5P43*

* 時刻LEDとIR LEDを搭載するのは、T4シリーズの特定モデルのみです。

A.1 電源装置の仕様

出力の特性

出力電圧	負荷の範囲		サージ（10ミリ秒以下）	電圧変動範囲	リップルとノイズ	
	最小	最大		(%)	Vpp	Vpp & ノイズ
+5V	0.3A	18A		-5% ~ +5%	50mV	70mV
+3.3V	0.3A	16A		-5% ~ +5%	50mV	70mV
+12V1	1A	10A	12A	-5% ~ +5%	150mV	150mV
+12V2	1A	14A	18A	-5% ~ +5%	150mV	150mV
-12V	0A	0.3A		-10% ~ +10%	200mV	200mV
+5VSB	0.1A	2.5A		-5% ~ +5%	50mV	70mV

A.2 デバッグコード表

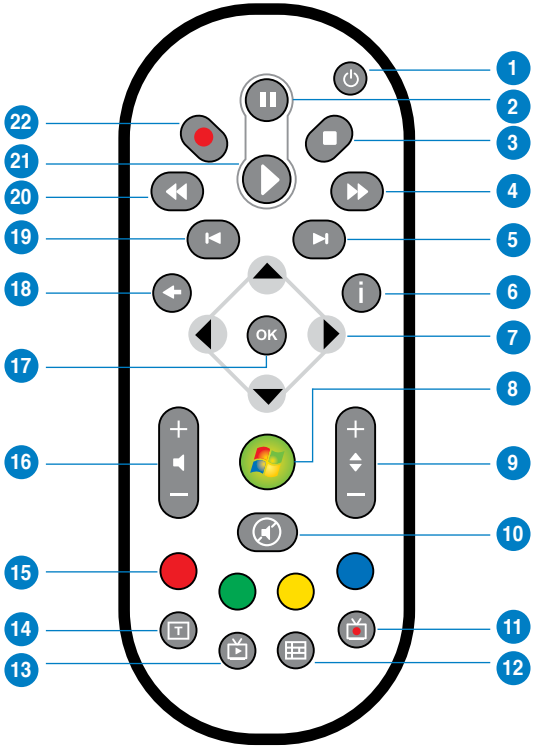
コード	説明
CPU	CPU のイニシエーション CMOS R/W機能のテスト
CHIP	早期チップセット初期化： - シャドウRAMを無効化 - L2 キャッシュを無効化 - 基本チップセットレジスタをプログラム
ddr	メモリを検出 - DRAMのサイズ、種類、ECCの自動検出 - L2 キャッシュの自動検出
H A	ハードウェアモニターを初期化
SIO	1. Super I/O チップ用特殊キーボードコントローラのテスト 2. キーボードインターフェースを有効化
CL-	クロックジェネレータを初期化
USb	USBを初期化
PS2	PS/2 マウスを初期化
FAn	ファンのエラー
OS	ブート試行（INT 19h）

デバッグコードはBIOSがシステムのエラーを検出してLEDに表示するものですが、この機能が利用できるのは、この機能をサポートするモデルのみです。
また、表示内容は参考として提供するものです。

A.3　リモコンを使用する（オプション）

オプションのリモコンを使用して、Media Center プログラムを起動し、音楽ファイルや動画ファイル等のメディアファイルの再生ができます。また、外付けTVボックスを接続すれば、TV番組の視聴や録画も可能です。

リモコンの各ボタンの機能については、下の表でご確認ください。



No.	ボタン	説明
1.	電源	スクリーンとスピーカーの電源ON/OFFを切り替える。
2.	一時停止	メディアの再生を一時停止。
3.	停止	メディアの再生を停止。

（次項へ）

No.	ボタン	説明
4.	早送り	メディアを早送り。
5.	スキップ	次のトラックに進む。
6.	インフォメーション ボタン	Media Center環境で番組情報を表示。 その他のメニューオプションを表示。
7.	４ウェイ ナビゲーションキー	画面に表示されるメニューをスクロール。
8.	Windows® Media Center	Media Center を起動。
9.	チャンネル＋/－	TVチャンネルを切り替える。*
10.	ミュート	消音機能を切り替える。
11.	録画済みTV	録画済みTV番組のリストを表示。*
12.	EPG（電子番組ガイド）	EPG画面を表示。*
13.	ライブTVボタン	生放送中のTV番組を視聴。*
14.	シフト	数字入力と文字入力を切り替える。
15.	テレテキストボタン	欧州向けモデルのみ使用。
16.	音量＋/－	音量を調節。
17.	OK	操作を確定。
18.	リターン	前のページに戻る。
19.	前トラック	前のトラックへ戻る。
20.	巻き戻し	メディアファイルを巻き戻す。
21.	再生	メディアファイルを再生。
22.	録画	TV番組の録画を開始。

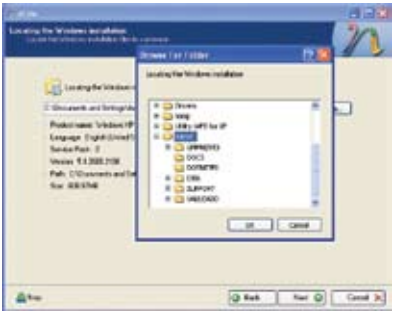
* *本機にはTVチューナーは内蔵されていません。TV機能を利用するには、外付けのTVボックスの別途購入が必要です。

A.4 AHCIドライバをWindows® XPインストールファイルに組み込む

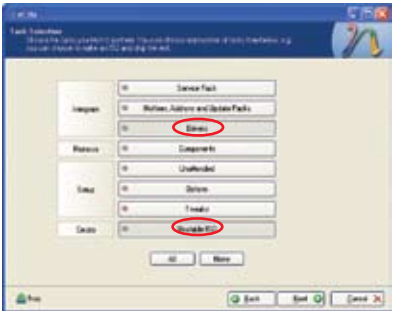
nLite ではAHCI ドライバをWindows® XP インストールファイルに組み込むことができます。組み込まれたAHCI ドライバはsWindows® XPのインストールの際にインストールされます。

手順

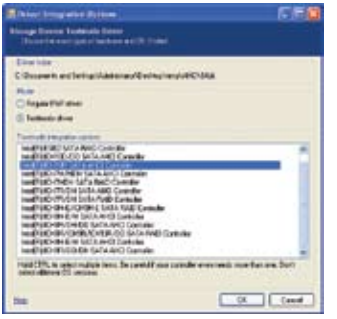
1. nLite アプリケーションをインストールします。nLite のWebサイト（http://www.nliteos.com）でインストールファイルをダウンロードしてください。
2. 新しいフォルダを作成し、フォルダ名を「WinXP」にします。続いてWindows® XP OSインストールディスクから全てのファイルをWinXPフォルダにコピーします。
3. もう１つ新しいフォルダを作成し、フォルダ名を「AHCI」にし、サポートCD内の Drivers/RAID/Driver/32bit または 64bit にあるファイルを全てAHCI フォルダにコピーします。
4. nLite アプリケーションを起動します。表示する言語を選択し、「**Next**」をクリックします。初期設定の表示言語は英語です。
5. 「**Browse**」を選択し、Windows® XPインストールファイル含むWinXPフォルダを選択します。続いて「**OK**」を選択した後「**Next**」をクリックします。



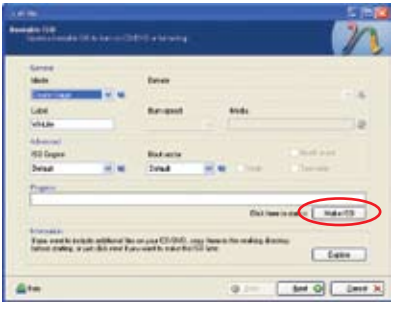
6. 「**Next**」をクリックします。Task Selection ウインドウから「**Drivers**」と「**Bootable ISO**」を選択し、「**Next**」をクリックします。



7. 「**Insert**」→「**Multiple driver folder**」の順にクリックし、AHCI フォルダを選択したら「**OK**」をクリックします。続いて、ドライバのパス選択し、「**OK**」を選択します。次に「**Intel(R) ICH10R SATA AHCI Controller**」を選択して「**OK**」→「**Next**」をクリックします。確認メッセージが表示されますので、「**Yes**」をクリックします。
一連の操作が終了したら「**Next**」をクリックします。



8. Mode のリストから「**Create Image**」を選択し、「**Make ISO**」ボタンを押します。続いてこの ISOファイルの保存場所を選択し ISOファイルの名前を入力したら、「**Save**」をクリックします。ISOイメージの作成が終了したら、「**Next**」をクリックします。



9. 「**Finish**」をクリックし、nLite を閉じます。
10. Windows® XPをインストールする前に、以下の手順でBIOS Setup でAHCI モードを有効にします。

    POSTの段階で<DEL>キーを押し、BIOS Setup を開きます。メインメニューから「**Configure SATA as**」を選択し、<Enter>キーを押します。続いて [AHCI] を選択し<Enter>キーを押します。
    <F10>キーを押してBIOS Setup を閉じます。